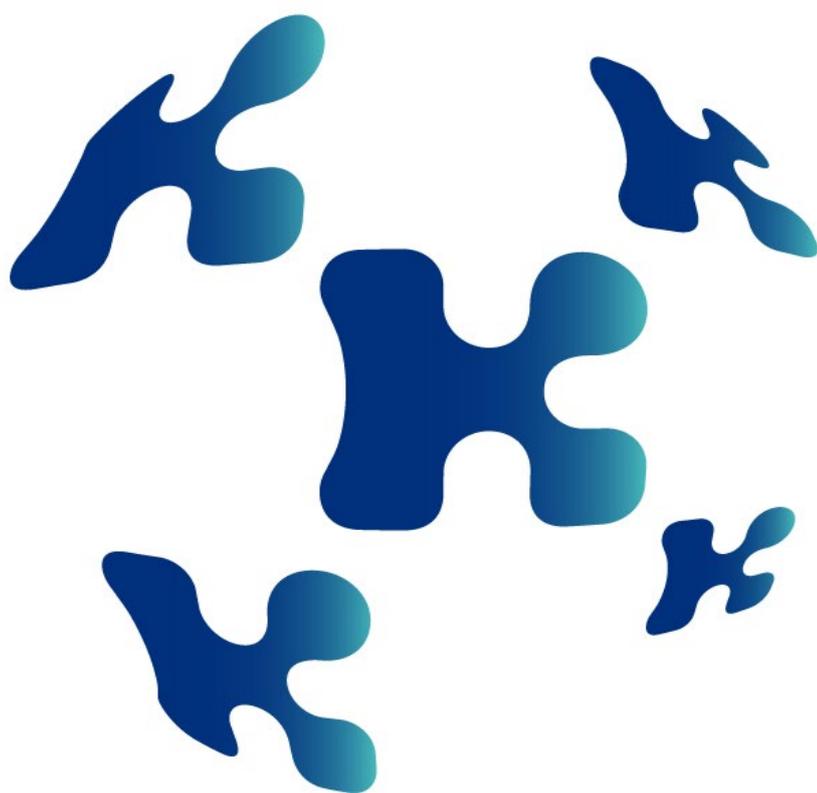


授業概要  
Syllabus 2025  
理学療法学専攻  
(2年次)



高知健康科学大学  
University of Kochi Health Sciences

健康科学部 リハビリテーション学科 シラバス 目次 (2年次)

時間割 (前期・後期)

2

教養基礎科目	頁
初年次科目	
ラーニングレテラシー	.....
情報レテラシー	.....
初年次IPE演習	.....
人間の探求	
人間科学概論	.....
心理学	.....
生命倫理学	.....
医療人類学	.....
社会の探求	
社会学概論	.....
情報と社会	.....
法律と社会	.....
教育と社会	.....
自然の探求	
データサイエンス	.....
災害と共に生きる	.....
ライフサイエンス生物学	.....
バイオメカニクス	.....
言語の探求	
基礎英語	.....
コミュニケーション論	.....
コミュニケーション英語	.....
異文化コミュニケーション (中国語)	.....
保健体育	
スポーツ実践	.....

専門基礎分野	頁
解剖学 I	.....
解剖学 II	.....
骨学筋学 I	.....
骨学筋学 II	.....
体表解剖学	..... 4
組織学	..... 6
リハビリテーション基礎医学	
生理学 I	.....
生理学 II	.....
生理学演習 I	.....
生理学演習 II	.....
応用解剖生理学	.....
身体運動学 I	.....
身体運動学 II	.....
運動生理学	..... 8
人間発達学	.....
脳科学概論	..... 10
医学英語	..... 12
臨床医学	
病理学	.....
リハビリテーション医学	.....
内科学	..... 14
神経内科学	..... 17
整形外科学	..... 20
精神医学	..... 22
小児科学	..... 24
臨床心理学	..... 26
臨床栄養学	.....
臨床薬理学	.....
救急救命処置演習	.....
保健医療福祉	
リハビリテーション概論	.....
健康科学概論	..... 28
社会福祉学概論	..... 31
災害リハビリテーション	.....
国際リハビリテーション学	.....
福祉住環境論	.....

専門分野 (理学療法学専攻)	頁
基礎理学療法学	
理学療法学概論	.....
運動分析学	..... 34
理学療法管理学	.....
理学療法教育学	.....
理学療法評価学	
理学療法評価学	.....
理学療法評価学実習	..... 37
形態評価学実習	.....
筋機能評価学実習	..... 40
神経機能評価学実習	..... 43
生理機能評価学実習	.....
理学療法治療学	
運動療法学	..... 46
運動療法学実習	..... 49
物理療法学	..... 52
物理療法学実習	..... 55
日常生活活動学	..... 57
日常生活活動学実習	..... 60
装具学	..... 63
義肢学	.....
神経理学療法学 I	..... 66
神経理学療法学 II	..... 69
神経理学療法学実習	.....
運動器理学療法学 I	..... 72
運動器理学療法学 II	..... 75
運動器理学療法学実習	.....
スポーツ理学療法学	.....
小児理学療法学	.....
呼吸器理学療法学	.....
循環器理学療法学	.....
代謝理学療法学	.....
地域理学療法	
地域リハビリテーション学	..... 78
地域理学療法学	.....
多職種連携教育	.....

専門分野 (作業療法学専攻)	頁
基礎作業療法学	
作業療法学概論	.....
基礎作業学	.....
基礎作業学実習	.....
作業分析学	.....
作業療法管理学	.....
作業療法教育学	.....
作業療法評価学	
作業療法評価学	.....
作業療法評価学実習	.....
身体機能評価学実習	.....
精神機能評価学実習	.....
神経機能評価学実習	.....
発達機能評価学実習	.....
作業療法治療学	
身体機能作業療法学 I	.....
身体機能作業療法学 II	.....
身体機能作業療法学実習	.....
高次脳機能作業療法学	.....
精神機能作業療法学 I	.....
精神機能作業療法学 II	.....
精神機能作業療法学実習	.....
運動器作業療法学	.....
高齢期作業療法学	.....
発達過程作業療法学	.....
発達過程作業療法学実習	.....
内部機能作業療法学	.....
日常生活活動学	.....
日常生活活動学実習	.....
義肢装具学	.....
生活行為向上マネジメント演習	.....
職業関連活動学	.....
地域作業療法	
地域リハビリテーション学	.....
地域作業療法学	.....
多職種連携教育	.....

専門分野 (両専攻)	頁
発展科目A	
筋骨格系リハビリテーション	.....
認知のリハビリテーション	.....
痛みのサイエンス	.....
予防リハビリテーション	.....
ニューロサイエンス	.....
スポーツサイエンス	.....
ヘルスプロモーション	.....
がんリハビリテーション	.....
発展科目B	
社会自立支援技法	.....
児童発達支援技法	.....
地域社会支援技法	.....

総合科目 (理学療法学専攻)	頁
臨床実習	
臨床技能演習 I	.....
臨床技能演習 II	.....
早期臨床体験実習	.....
理学療法臨床評価実習	..... 81
理学療法臨床総合実習 I	.....
理学療法臨床総合実習 II	.....
理学療法地域実習	.....
統合科目	
理学療法特論 I	.....
理学療法特論 II	.....
理学療法総合演習	.....
卒業研究	
理学療法研究法	.....
理学療法セミナー	.....
卒業研究	.....

総合科目 (作業療法学専攻)	頁
臨床実習	
臨床技能演習 I	.....
臨床技能演習 II	.....
早期臨床体験実習	.....
作業療法臨床評価実習	.....
作業療法臨床総合実習 I	.....
作業療法臨床総合実習 II	.....
作業療法地域実習	.....
統合科目	
作業療法特論 I	.....
作業療法特論 II	.....
作業療法総合演習	.....
卒業研究	
作業療法研究法	.....
作業療法セミナー	.....
卒業研究	.....

**健康科学部 リハビリテーション学科**  
**理学療法専攻/作業療法専攻**  
**2年次生 時間割**

**前 期**

	専攻	月	火	水	木	金
<b>1時限目</b> 9:00 } 10:30	PT		運動療法学 竹林 102講義室	運動器理学療法学Ⅰ 奥田 102講義室講義室	健康科学概論 宮口 306中講義室	精神医学 藤田 306中講義室
	OT		作業分析学 畑田・萩原 202講義室			
<b>2時限目</b> 10:40 } 12:10	PT	神経機能評価学実習 榎・渡邊 102講義室・204治療評価実習室	神経理学療法学Ⅰ 榎 102講義室	日常生活活動学 井上 102講義室	健康科学概論 川村 306中講義室	筋機能評価学実習 宮本(祥)・岡部 205レクリエーション室
	OT	精神機能作業療法学Ⅰ 畑田 202講義室	身体機能作業療法学Ⅰ 片岡 202講義室	精神機能評価学実習 畑田・萩原 202講義室		神経機能評価学実習 片岡・箭野 202講義室
<b>3時限目</b> 13:20 } 14:50	PT	体表解剖学 岡部 102講義室・204治療評価実習室	運動生理学 宅間 306中講義室	整形外科学 宅間 306中講義室	医学英語 宮本(祥) 102講義室	物理療法学 菅原 102講義室
	OT	医学英語 宮本(祥) 202講義室			基礎作業学実習 萩原 作業実習室・202講義室	体表解剖学 岡部 202講義室・204治療評価実習室
<b>4時限目</b> 15:00 } 16:30	PT			内科学 (第2・3内科) 306中講義室	(精神医学) (赤松 4/10 4/17 5/1 5/8 )	物理療法学 菅原 102講義室
	OT		(精神医学) (或 5/13 5/20)			
<b>5時限目</b> 16:40 } 18:10	PT					
	OT					

**後 期**

	専攻	月	火	水	木	金
<b>1時限目</b> 9:00 } 10:30	PT		神経内科学 大崎 他 306中講義室	運動器理学療法学Ⅱ 奥田 102講義室	運動分析学 榎・渡邊 102講義室	地域リハビリテーション学：竹林・滝本 または 物理療法学実習：菅原・岡部 102講義室・204治療評価実習室
	OT			生活行為向上マネジメント演習 桂・稲富	精神機能作業療法学Ⅱ 畑田 202講義室	地域リハビリテーション学 竹林・滝本 202講義室
<b>2時限目</b> 10:40 } 12:10	PT	組織学 大迫 306中講義室	神経内科学 大崎 他 306中講義室	神経理学療法学Ⅱ 川村 102講義室	装具学 川村・渡邊 102講義室	地域リハビリテーション学：竹林・滝本 または 物理療法学実習：菅原・岡部 102講義室・204治療評価実習室
	OT			発達機能評価学実習 石附 202講義室	高次脳機能作業療法学 稲富 202講義室	地域リハビリテーション学 竹林・滝本 202講義室
<b>3時限目</b> 13:20 } 14:50	PT	理学療法評価学実習 宮本(祥)・渡邊 102講義室・204治療評価実習室	小児科学 鳥崎 306中講義室	日常生活活動学実習 井上 102講義室	運動療法学実習 竹林・近藤 102講義室	臨床心理学 鹿間 306中講義室
	OT	作業療法評価学実習 萩原・稲富 202講義室			身体機能作業療法学Ⅱ 國友 202講義室	
<b>4時限目</b> 15:00 } 16:30	PT	理学療法評価学実習 宮本(祥)・渡邊 102講義室・204治療評価実習室			脳科学概論 繁樹 306中講義室	社会福祉学概論 稲垣 306中講義室
	OT	作業療法評価学実習 萩原・稲富 202講義室	日常生活活動学 桂 202講義室			
<b>5時限目</b> 16:40 } 18:10	PT					
	OT					

# 專門基礎科目

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	体表解剖学	演習	1	15	2	前期
担当教員							
科目責任者	岡部 孝生：修士（教育学）理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授業概要							
解剖学Ⅰ・Ⅱなどで学修したことを基盤とし、人体の構造に関する知識の理解を深めるものである。理学療法士・作業療法士は対象者に対して非侵襲的に（皮膚の上から）評価・治療する場合も多い。そのため皮膚の上から各組織を触察できる能力が不可欠である。本講義では理学療法士・作業療法士として必要な骨・筋・神経・動脈などの触察の必要性和、基本的な触察技術を身につけることを目的としている。							
学習目標							
1. 体表解剖学の必要性を知る。 2. 基本的な触察技術を身につける。 3. 体表解剖学を通して、身体構造の3次元的イメージを身につける。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	骨触察の概論 触察の目的、基本手技について、代表的骨指標（ランドマーク）の触察 事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。						岡部 孝生
2	骨触察1 肩甲骨周辺の触察：触察をするために皮膚に投影図を描く。 事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。						岡部 孝生
3	筋触察1 肩甲帯筋群の触察：触察をするために皮膚に投影図を描く。 筋の起始・停止、作用も確認する。 事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。						岡部 孝生
4	骨触察2 上肢の骨の触察：触察をするために皮膚に投影図を描く。 事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。						岡部 孝生

5	<p>筋触察2</p> <p>上肢の筋の触察：触察をするために皮膚に投影図を描く。</p> <p>筋の起始・停止、作用も確認する。</p> <p>事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。</p>	岡部 孝生
6	<p>骨触察3</p> <p>下肢の骨の触察：触察をするために皮膚に投影図を描く。</p> <p>事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。</p>	岡部 孝生
7	<p>筋触察3</p> <p>下肢の筋の触察：触察をするために皮膚に投影図を描く。</p> <p>筋の起始・停止、作用も確認する。</p> <p>事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。</p>	岡部 孝生
8	<p>神経・動脈の触察</p> <p>上下肢の神経・筋の触察：触察をするために皮膚に投影図を描く。</p> <p>事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。</p>	岡部 孝生
教科書	<p>1. PT・OTビジュアルテキスト専門基礎 解剖学 坂井建雄 町田志樹 羊土社 2018</p> <p>2. プロメテウス解剖学アトラス コンパクト版 第2版 坂井建雄 医学書院 2019</p>	
参考図書	<p>1. 骨格筋の形と触察法 第2版 河上敬介、磯貝香(著) 大峰閣 2013</p>	
成績評価	<p>定期末試験50%、実技試験50%、合計100%で評価する。</p>	
オフィスアワー	<p>火曜日 5 限。講義後も質問を受けつけます。</p> <p>また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。</p>	
留意事項		

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門基礎	組織学	演習	1	15	2	後期
担当教員							
科目責任者	大迫 洋治：博士(獣医学)＜非常勤講師＞ 高知大学 医学部解剖学講座 准教授					実務経験のある 教員による科目	
授業概要							
<p>組織学は、顕微鏡による詳細な観察を通して、生体の正常構造をミクロレベルで理解する学問である。組織学の豊富な知識は、疾患を学ぶ上でも診断の際にも非常に強力な武器となる。本科目では、4つの基本組織（上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織）を中心に、その微細構造を理解し、身体を構成する要素をしっかりとイメージし、構造が正常機能の発現にどのように関わっているのか、疾患の根底にどのような形態学的異常があるのかを知ることを目的とする。また、実際に光学顕微鏡でスライド標本を観察することで、基本的な検鏡法も習得する。受講を通して、我々のからだは、ミクロレベルにおいても実に精緻につくられていることを実感すると同時に形態学を持つ意味を認識してほしい。</p>							
学習目標							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 細胞の顕微鏡像について説明できる</li> <li>2. 上皮組織を形態的に分類できる</li> <li>3. 骨組織と軟骨組織の違いについて説明できる</li> <li>4. 骨格筋、心筋、平滑筋の各組織像の特徴を説明できる</li> <li>5. 神経細胞と神経線維の形態的特徴について説明できる</li> <li>6. 大脳・小脳・脊髄の各組織像の特徴について説明できる</li> <li>7. 光学顕微鏡を用いて標本観察ができる</li> </ol>							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	<p>組織学研究法 代表的な染色法とその染色像の特徴について理解する。 顕微鏡の種類と各特徴について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマに関連する解剖学を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。</p>						大迫 洋治
2	<p>細胞の構造 動物細胞の基本構造について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマに関連する解剖学を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。</p>						大迫 洋治
3	<p>上皮組織の形態による分類 上皮組織を形態により分類し、典型的な存在部位と機能について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマに関連する解剖学を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。</p>						大迫 洋治
4	<p>結合組織の種類、軟骨・骨組織、骨発生 結合組織の一般的構造と機能について理解する。軟骨組織と骨組織の違いについて理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマに関連する解剖学を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。</p>						大迫 洋治

5	筋組織（骨格筋・心筋・平滑筋） 骨格筋、心筋、平滑筋の構造上の特徴を理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマに関連する解剖学を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
6	神経組織（ニューロン、グリア、無髄・有髄神経線維） ニューロンの形態の特徴について理解する。ニューロンとグリアの違いについて理解する。 無髄神経線維と有髄神経線維の違いについて理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマに関連する解剖学を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
7	神経組織（大脳・小脳・脊髄） 灰白質と白質の違いについて理解する。大脳・小脳皮質の層構造について理解する。 脊髄前角の運動ニューロンの形態について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマに関連する解剖学を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
8	光学顕微鏡像の観察 実際の光学顕微鏡像を観察して、各構造物を同定する。 事前学習（2時間）：組織学の講義内容を総復習しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
教科書	新組織学（Qシリーズ）第7版 野上晴雄他 日本医事新報社	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	事後学習課題32%，最終レポート課題68%で評価します。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	運動生理学	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	宅間 豊：博士(保健学) 理学療法士 土佐リハビリテーションカレッジ					実務経験のある 教員による科目	
授業概要							
運動生理学は「運動によって身体にどのような変化が生ずるのか、その現象と仕組みを研究する学問」と言われている。一方、Physiotherapyの「Physio」は生理学との関係を表す接頭語であり、Physiotherapyは運動等の物理的刺激的の適用により生体の生理的反応を期待する治療と言われている。よって、運動生理学はリハビリテーションにおいて基盤となる重要な学問の一つである。そこで、この授業では運動に関係する身体の各器管系とそれらの運動時の反応を中心に学習する。							
学習目標							
1. 運動に関与する骨格筋系（筋線維の種類・特徴、エネルギー供給）を説明できる。 2. 運動に関与する神経系（役割・収縮様式と筋力）を説明できる。 3. 運動に関与する呼吸・循環・代謝系のメカニズムを説明できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内 容						担当教員
1	第1章 筋収縮とエネルギー供給系 1 骨格筋線維内の構造と機能 事前学習（2時間）：骨格筋線維の構造と機能を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：骨格筋線維内の環境・興奮収縮連関・筋滑走説を復習すること。						宅間 豊
2	第1章 筋収縮とエネルギー供給系 2 ATP再合成のためのエネルギー産生供給系 事前学習（2時間）：3つのエネルギー供給系を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：運動強度とエネルギー供給系との関係を復習すること。						宅間 豊
3	第2章 筋線維の種類とその特徴 1 骨格筋線維の分類とそれぞれの特性 事前学習（2時間）：骨格筋線維の分類を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：各筋線維の収縮および代謝の特性を復習すること。						宅間 豊
4	第2章筋線維の種類とその特徴 2 身体トレーニングによる筋線維組成の変化 事前学習（2時間）：筋力増強運動と筋持久力運動の処方原則を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：身体トレーニングによる筋線維組成の変化を復習すること。						宅間 豊
5	第3章 神経系の役割 1 神経入力による $\alpha$ 運動ニューロン興奮度の調整 事前学習（2時間）：錐体路系・錐体外路系・固有受容器を復習しておくこと。 事後学習（2時間）： $\alpha$ 運動ニューロンに対する遠心性入力と求心性入力を復習すること。						宅間 豊

6	第3章 神経系の役割2 漸増負荷運動によるサイズの原理 事前学習(2時間)：全か無かの法則を復習しておくこと。 事後学習(2時間)：ランプ負荷で発動するサイズの原理を復習すること。	宅間 豊
7	第4章 筋の収縮様式と筋力1 筋収縮の種類と特性 事前学習(2時間)：筋収縮の種類を復習しておくこと。 事後学習(2時間)：長さ張力関係、速度張力関係を復習すること。	宅間 豊
8	第4章 筋の収縮様式と筋力2 筋力増強運動による最大筋力増加のメカニズム 事前学習(2時間)：筋力増強運動を復習しておくこと。 事前学習(2時間)：筋力増強メカニズムに関係する短期・長期適応を復習すること。	宅間 豊
9	中間試験 試験範囲は第1章から第4章までとする。 事前学習(2時間)：試験対策を行うこと。 事後学習(2時間)：解答に自信のない箇所を確認すること。	宅間 豊
10	運動と循環1 血液循環経路、心拍数と冠血流量との関係、刺激伝導系と心電図 事前学習(2時間)：体循環と肺循環、心臓栄養血管、刺激伝導系を復習しておくこと。 事後学習(2時間)：心周期と冠血流量との関係を復習すること。	宅間 豊
11	運動と循環2 運動に伴う心拍数と1回拍出量の変化、目標心拍数・生理的コスト指数・2重積の算出 事前学習(2時間)：心周期を復習しておくこと。 事後学習(2時間)：目標心拍数・生理的コスト指数・2重積の算出法を復習すること。	宅間 豊
12	運動と循環3 全身持久力トレーニングの心臓血管系におよぶ影響 事前学習(2時間)：全持久力トレーニングの処方を復習しておくこと。 事前学習(2時間)：有酸素運動が心臓血管系と運動筋に及ぼす効果を復習すること。	宅間 豊
13	運動と呼吸1 呼吸と酸塩基平衡 事前学習(2時間)：酸塩基平衡を復習しておくこと。 事前学習(2時間)：呼吸性アシドーシス・アルカローシスを復習すること。	宅間 豊
14	運動と呼吸2 肺呼吸と組織呼吸の仕組み 事前学習(2時間)：血液による酸素と二酸化炭素の運搬を復習しておくこと。 事後学習(2時間)：ヘモグロビン酸素解離曲線を復習すること。	宅間 豊
15	運動と呼吸3 酸素摂取量の規定因子 事前学習(2時間)：動静脈酸素較差を復習しておくこと。 事後学習(2時間)：代謝当量(MET)を復習すること。	宅間 豊
教科書	1. 入門運動生理学 勝田茂(編) 杏林書院 2. 配付プリント	
参考図書	1. 図説・運動の仕組みと応用 中野昭一(編) 医歯薬出版 2. 図説・運動生化学入門 伊藤郎(編著) 医歯薬出版	
成績評価	中間試験(第1~7回の範囲)と学期末試験(第8~15回の範囲)の2回の試験を実施します。 成績は中間50%、学期末50%で評価をします。	
オフィスアワー	火曜日5限。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門 基礎	脳科学概論	講義	2	30	2	後期
担当教員							
科目責任者	繁柁 博昭：博士(心理学)＜非常勤講師＞ 高知工科大学 情報学群 教授 竹田 昂典：博士(医学)＜非常勤講師＞ 高知工科大学 総合研究所 脳コミュニケーション研究センター 助教 門田 宏：博士(学術)＜非常勤講師＞ 高知工科大学 情報学群 准教授					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
<p>脳科学に関連した知見はマスコミにもよく取り上げられ、タイトルに脳の付いた書籍も多数平積みで売られている。しかし、テレビや本などでよく聞かれる話には拡大解釈された俗説も少なくない。本講義では脳のはたらきを正しく理解することを目指し、脳や神経細胞の構造、機能の基本的特性を学ぶ。また、知覚、認知、運動など、私たちの生活に関わる脳の各機能の処理過程についても学ぶ。さらに、脳・機械インタフェースなど、脳に関する最新の研究トピックスも適宜紹介する。</p>							
学 習 目 標							
1. 脳や神経細胞の構造と機能の基本的特性を理解し、脳についての正しい知識を身につける。 2. 脳活動の測定方法について理解する。 3. 知覚、認知、運動の脳内処理過程について理解する。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	神経細胞と神経ネットワーク 脳・神経系の構成単位であるニューロンのしくみと神経信号の伝達の機序について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスで学習内容を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						繁柁 博昭
2	脳の構造と機能 脳の解剖学的な構造と、脳の各領域の機能について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。						繁柁 博昭
3	脳活動計測法 神経細胞の活動を直接測定する手法、および脳活動を非侵襲的に測定する手法を学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。						繁柁 博昭
4	視覚1：初期視覚の処理過程 網膜から脳に至る初期視覚の情報処理について概説し、視覚系の神経細胞の特性を学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。						繁柁 博昭
5	視覚2：物体認知と高次視覚の処理過程 視覚系の比較的高次な処理、及び脳の損傷によって生じる高次の機能障害を学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。						繁柁 博昭

6	注意と意識 注意の特性について、及び意識とは何かを明らかにしようとする脳科学の研究を学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
7	聴覚,嗅覚,味覚 外界の情報を得るための視覚以外の感覚である、聴覚、嗅覚、味覚のしくみを学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
8	体性感覚,平衡覚 身体に関わる感覚として、体性感覚、平衡覚について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
9	学習と記憶 脳と機械を直接結ぶブレイン・マシン・インタフェース（BMI）研究について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
10	言語,情動,社会的認知 記憶および言語に関わる脳の機能について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
11	脳－機械インタフェース 記憶と睡眠の関係について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
12	運動1：運動の制御 反射や歩行について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
13	運動2：運動の学習 随意運動に関わる脳の機能について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
14	脳科学とリハビリテーション 運動の学習パラダイムについて学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
15	まとめ 運動記憶や転移について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	1. イラストレクチャー認知神経科学 村上郁也編 オーム社 2. リハビリテーションのための脳・神経科学入門 森岡 周著 協同医書出版社 3. リハビリテーションのための認知神経科学入門 森岡 周著 協同医書出版社	
成績評価	定期試験80%、授業中の課題（20%）を総合して認定する。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門 基礎	医学英語	講義	1	15	2	前期
担当教員							
科目責任者	宮本 祥子：修士（学術）理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
<p>リハビリテーション医学分野で頻出する専門英語を日本語、英語両面から表現し、解説できることが第一の目標である。また、英語の学習を通して障害や疾患についての概要や病態生理の知識を整理する。授業の後半には、医学・保健に関する時事的ニュース（研究成果の紹介）の英文テキストや英論文を講読する。講読の際には、担当教員がテキスト中に出現する語彙をJACET 8000やAcademic Word List（Coxhead 2000）、理学療法ESP語彙表（宮本 2011）と照合し、種類分けを行い提示する。「学術語彙」「専門語彙」に分類されるものについては、語彙の修得（日本語訳ができる）を目標として学修する。</p>							
学 習 目 標							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リハビリテーション医学の基礎的な専門英語を単語レベルで日本語、英語両面から表現できる。</li> <li>2. リハビリテーション医学分野で対象となる障害や疾患についての学術用語を英語で表現し、意味を解説できる。</li> <li>3. 英文テキスト・英論文の内容とテキストに出現する専門語彙が理解できる。</li> <li>4. 英語論文の構成を理解する。</li> </ol>							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担 当 教 員
1	<p>運動学関連の専門語彙 身体運動・関節運動の表現 事前学習（2時間）：日本語で構わないので、関節運動の表現の復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の練習問題に取り組むこと。</p>						宮本 祥子
2	<p>疾患関連の専門語彙 各種疾患の英語名を学ぶ。また、疾患の説明が出来るようにする。 事前学習（2時間）：復習テスト（小テスト）を行うので復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：講義内で出てきた疾患について再度復習しておくこと。</p>						宮本 祥子
3	<p>筋肉名に関する語彙 上肢・下肢・体幹の筋肉について、英語名を学ぶとともに、筋の働きの確認を行う。 事前学習（2時間）：復習テスト（小テスト）を行うので復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の練習問題に取り組むこと。</p>						宮本 祥子
4	<p>医学用語 医学用語で頻出の接頭語・接尾語の整理を行う。また、方向を表す語の整理を行う。 事前学習（2時間）：復習テスト（小テスト）を行うので復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の練習問題に取り組むこと。</p>						宮本 祥子
5	<p>医療に関するニュースを読む（医学研究の成果に関するニュース）（1） 医療ニュースの紹介、語彙の確認、cloze test 事前学習（2時間）：復習テスト（小テスト）を行うので復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料に目を通す。特に新出単語はよく復習をしておくこと。</p>						宮本 祥子

6	医療に関するニュースを読む（医学研究の成果に関するニュース）（2） 医療ニュースの内容を理解する。最初の1/3の内容を講読する。 事前学習（2時間）：単語の確認テストを行うので復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の練習問題に取り組むこと。	宮本 祥子
7	医療に関するニュースを読む（医学研究の成果に関するニュース）（3） 医療ニュースの内容を理解する。ニュースの終盤1/3の内容を講読する。 事前学習（2時間）：復習テスト（cloze test）を行うので復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：ニュースの全体を把握する資料を配布する。練習問題を解くこと。	宮本 祥子
8	英語論文の種類と構成 英語論文の種類（原著・症例報告など）と構成（IMRAD形式）を知る。 事前学習（2時間）：英語ニュースの復習テストを行うので復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：英論文の種類と構成を確認しておくこと。	宮本 祥子
教科書	教員が独自に授業資料を作成し配布します。	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	学期末試験80%、復習テスト20%、合計100%で評価する。	
オフィスアワー	月曜日 5時限目。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	内科学	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	山根 真由香：医師 高知大学 医学部 呼吸器・アレルギー内科学 助教					実務経験のある 教員による科目	
	荻野 慶隆：医師 高知大学 医学部 呼吸器・アレルギー内科学 助教						
	水田 順也：医師 高知大学 医学部 呼吸器・アレルギー内科学 特任助教						
	小島 研介：医師 高知大学 医学部 血液内科学 教授						
	船越 生吾：医師 高知大学 医学部 内分泌代謝・腎臓内科学 助教						
	田口 崇文：医師 高知大学 医学部 内分泌代謝・腎臓内科学 講師						
	刑部 有紀：医師 高知大学 医学部 内分泌代謝・腎臓内科学 助教						
	猪谷 哲司：医師 高知大学 医学部 内分泌代謝・腎臓内科学 特任助教						
	平野 世紀：医師 高知大学 医学部 内分泌代謝・腎臓内科学 助教						
	岩崎 信二：博士(医学) 医師 土佐田村病院副院長 消化器内科						
授業概要							
リハビリテーションの対象は、運動器および神経系の障害から呼吸循環器系、代謝系、泌尿器系などの内部障害にまで急速に拡大している。このようなリハビリテーション医療の拡大を鑑みて、内科系疾患の病態、診断、治療を講義しセラピストの必要な知識を教授する。							
学習目標							
1. 基本的な内科疾患を理解できる。 2. 内科の基本的な診断と治療を理解できる。 3. 内科疾患に対する治療を理解できる。 4. 内科疾患を理解するための解剖・生理学を理解する。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容					担当教員	
1	総論 内科学とは、病気の原因・症状・徴候・診断・治療 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。					山根 真由香	
2	呼吸器1 解剖・生理、呼吸器疾患の主要症状・身体所見・検査所見 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。					荻野 慶隆	
3	呼吸器2 各論：閉塞性肺疾患、拘束性肺疾患、感染性肺疾患など 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。					水田 順也	
4	血液1 解剖・生理・生化学、血液疾患のの主要症状・身体所見・検査所見 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。					小島 研介	

5	血液2 各論：貧血、多血症、白血病、悪性リンパ腫など 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	小島 研介
6	内分泌全般 内分泌総論、各論：下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎皮質疾患 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	田口 崇文
7	腎・水電解質1 腎不全・水電解質・酸・塩基 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	刑部 有紀
8	代謝1 代謝総論、各論：糖尿病 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	船越 生吾
9	腎・水電解質2 腎基礎・一次性・二次性 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	猪谷 哲司
10	代謝2 脂質異常症・その他 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	平野 世紀
11	消化管 総論、各論：食道、胃、十二指腸、小腸、大腸疾患 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	岩崎 信二
12	肝臓 肝臓の解剖・生理、肝疾患 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	岩崎 信二
13	胆 膵 胆嚢、膵臓の解剖生理、各論：胆石、急性膵炎、慢性膵炎、膵癌など 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	岩崎 信二
14	免 疫 免疫の基礎、各論：アレルギー疾患 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	岩崎 信二
15	まとめ 内科学のまとめ 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	岩崎 信二
教科書	1. ナースの内科学 改訂10版 奈良 信雄（編） 中外医学社	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	定期試験成績（100%）により認定する。	

オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。
留意事項	

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	神経内科学	講義	2	30	2	後期
担当教員							
科目責任者	森田ゆかり：医師 高知大学医学部脳神経内科学 助教 大崎 康史：医師 高知大学医学部脳神経内科学 講師 橋本 侑：医師 高知大学医学部脳神経内科学 特任助教 田辺 裕久：医師 朝倉病院 理事長 山崎 直仁：医師 高知大学医学部老年病・循環器内科学 准教授 馬場 裕一：医師 高知大学医学部老年病・循環器内科学 助教 北岡 裕章：医師 高知大学医学部老年病・循環器内科学 教授					実務経験のある 教員による科目	
授業概要							
神経学は一般に難解な学問という印象がある。しかし、解剖学と生理学を正しく理解すれば、知識の整理は極めて論理的に行うことができる。本講義では、まず神経系の解剖と生理を学びながら神経疾患の性質診断と部位診断という基本的アプローチを身につける。その後、脳血管障害、変性疾患、感染性疾患などの各論の治療法・予後についての理解を深める。高齢化社会である我が国において、神経内科領域の重要性はますます増えており、社会に出た後にも有用であるように図られている。							
学習目標							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神経系の解剖を理解し、神経疾患診断に到るプロセスを理解する。</li> <li>2. 神経学的所見の取り方の基礎、各種検査法を理解する。</li> <li>3. 神経疾患の主要症状の発生機序、症状内容、症状をきたす疾患について理解する。</li> <li>4. 各疾患についての病因病理、症状と経路、検査、診断、治療と予後について理解する。</li> </ol>							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	神経内科学総論 神経系の解剖生理 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						森田ゆかり
2	臨床神経解剖学・画像検査 CT, MRIなど 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						大崎 康史
3	神経生理学・検査 針筋電図、神経伝導検査 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						森田ゆかり
4	脳血管障害・総論 臨床症状、経過、検査所見 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						大崎 康史
5	脳血管障害・各論 脳血管障害の治療 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						大崎 康史

6	変性疾患 筋萎縮性側索硬化症 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	橋本 侑
7	変性疾患 パーキンソン病・類縁疾患 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	森田ゆかり
8	変性疾患 小脳変性症・痙性対麻痺 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	橋本 侑
9	認知症 認知機能検査、症状 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	田辺 裕久
10	中毒・代謝性疾患 ウイルソン病、アミロイドーシス 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	大崎 康史
11	神経疾患 MS, NMO, ADEM 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	大崎 康史
12	神経筋接合部疾患 重症筋無力症 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	大崎 康史
13	循環器疾患 心電図、不整脈 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	山崎 直仁
14	細菌・ウイルス・真菌感染症 髄膜炎、脳炎 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	大崎 康史
15	循環器疾患 高血圧 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	馬場 裕一
16	神経筋疾患 筋肉疾患（筋ジストロフィー） 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	森田ゆかり
17	循環器疾患 虚血性心疾患 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	北岡 裕章

18	神経疾患 末梢神経障害 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	森田ゆかり
19	弁膜症・心筋症 循環器疾患 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	北岡 裕章
教科書	1. ナースの内科学 改訂10版 奈良 信雄（編） 中外医学社	
参考図書	1. 神経内科ハンドブック 鑑別診断と治療 第5版 水野美邦 編集 医学書院 2. ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版 田崎義昭・斉藤佳雄・坂井文彦 南山堂 3. Merritt's Neurology 14th edition Elan D. Louis, Stephan A. Mayer, James M Noble. Wolters Kluwer	
成績評価	定期試験成績（100%）により認定する。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門 基礎	整形外科学	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	宅間 豊：博士(保健学) 理学療法士 土佐リハビリテーションカレッジ 池内 昌彦：博士(医学) 医師 高知大学医学部 整形外科学教室					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
<p>整形外科学は、骨・関節・靭帯・腱・筋肉といった運動に関与する器官（motor organ）の疾患や外傷を扱う医学であり、変形性関節症や骨折がその代表である。リハビリテーション医療における対象者は、運動器に機能構造障害を有している場合が多く、それが一因となり活動制限や参加制約に陥っている。セラピストがこのような対象者の病状を理解し、障害像を把握した上で理学療法や作業療法を適切に展開するためには整形外科学の知識は不可欠となる。よって、リハビリテーション医療に直接携わる理学療法士と作業療法士に必要な整形外科学を修得するための講義を行う。また、講義の最後には、整形外科手術の実際についての講義を行う。</p>							
学 習 目 標							
1. 基本的な整形外科疾患を理解できる。 2. 整形外科の基本的な診断法と治療法を理解できる。 3. 整形外科手術について理解できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担 当 教 員
1	関節リウマチ 1 自己免疫疾患の意味、関節リウマチの病態、関節症候、関節外症候 事前学習（2時間）：関節構成体を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：関節リウマチのの病理病態を復習すること。						宅間 豊
2	関節リウマチ 2 関節リウマチの診断と治療 事前学習（2時間）：関節リウマチの病理病態を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：関節リウマチの診断と治療を復習すること。						宅間 豊
3	変形性関節症 1 変形性関節症の総論 事前学習（2時間）：関節の構造を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：変形性関節症の概要を復習すること。						宅間 豊
4	変形性関節症 2 変形性股関節症と変形性膝関節症の病態・画像診断・手術療法 事前学習（2時間）：変形性関節症総論を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：変形性股関節症・膝関節症の概要を復習すること。						宅間 豊
5	骨粗鬆症 骨粗鬆症の病因・病理・診断・治療 事前学習（2時間）：骨の構造と代謝を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：骨粗鬆症の概要と治療を復習すること。						宅間 豊

6	前半部分まとめ 関節リウマチ・変形性関節症・骨粗鬆症の総括 事前学習（2時間）：関節リウマチ・変形性関節症・骨粗鬆症を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：解答に自信のない箇所を確認すること。	宅間 豊
7	頸椎・腰椎疾患1 頸椎椎間板ヘルニア・頸椎症・後縦靭帯骨化症の病態と治療 事前学習（2時間）：頸椎と頸髄および頸髄神経の構造と機能を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：頸椎疾患の病態と治療を復習すること。	宅間 豊
8	頸椎・腰椎疾患2 腰椎椎間板ヘルニアの病態と治療 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	宅間 豊
9	骨折1 骨折の定義・分類・症状・合併症 事前学習（2時間）：骨の構造を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：骨折の分類・症状・合併症を復習すること。	宅間 豊
10	骨折2 骨折の治癒機転、骨癒合の日数と異常経過、骨折の治療 事前学習（2時間）：骨折の合併症等を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：骨癒合の機転や骨折治療の基本を復習すること。	宅間 豊
11	関節損傷1 腱板断裂、アキレス腱断裂、膝半月板損傷の病態と治療 事前学習（2時間）：腱板・アキレス腱・膝半月板の機能解剖を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：腱板断裂、アキレス腱断裂、膝半月板損傷の病態と治療を復習すること。	宅間 豊
12	関節損傷2 膝および足関節靭帯損傷の病態と治療 事前学習（2時間）：膝および足関節靭帯の機能解剖を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：膝および足関節靭帯損傷の病態と治療を復習すること。	宅間 豊
13	末梢神経損傷1 末梢神経損傷の争論（原因・分類・変性と再生・症状・手術療法） 事前学習（2時間）：末梢神経の構造を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：末梢神経損傷の原因、分類、変性と再生、症状、手術療法を復習すること。	宅間 豊
14	末梢神経損傷2 末梢神経損傷の各論（腕神経叢・橈骨神経・正中神経・尺骨神経・腓骨神経・脛骨神経の麻痺） 事前学習（2時間）：腕神経叢の構成を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：各末梢神経麻痺の各論を復習すること。	宅間 豊
15	整形外科的手術の実際 人工関節（股関節・膝関節）、脊椎の手術 事前学習（2時間）：教科書にて該当疾患に関して調べておくこと。 事後学習（2時間）：整形外科的手術の術式に対して文献なども含めて調べる	池内 昌彦
教科書	1. 標準整形外科学 石井清一／平澤泰介（監） 医学書院	
参考図書	1. リハビリテーション整形外科学 大谷清（著） 医学書院 2. Visual NAVI! 整形外科学 岡田恭司（著） メディカルビュー社	
成績評価	中間試験（50％）、定期試験成績（50％）により認定する。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門 基礎	精神医学	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者		戎 正司：医師 近森病院 総合診療センター 藤田博一：医師 高知大学医学部附属医学教育創造センター 教授 玉元 徹：医師 南国病院 精神科 藤戸良子：医師 高知大学医学部附属病院 講師 赤松正規：医師 高知大学医学部附属病院 助教				実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
精神医学を取り巻く歴史的背景、精神保健福祉関連の事項について理解する。各精神疾患の特性について理解する。疾患独自の症状、診断の仕方、所見、経過、予後、治療、薬物療法を中心とした治療の視点を統合的に学ぶ。また、その理解を通してリハビリテーションに関わる治療の視点を学修する。							
学 習 目 標							
1. 精神現象の様々な異常を理解し説明できる。 2. 各疾患を理解できる 3. 精神医学の歴史的背景を説明できる。 4. 精神保健福祉関連の法律について理解できる。 5. 代表的な精神障害について症状、診断の仕方、所見、経過、治療について理解できる。 6. 各精神疾患の特性を理解し、リハビリテーションの治療の視点を説明できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担 当 教 員
1	総論 第1章：精神医学とは、第2章：脳科学と精神医学、第3章：精神機能とその異常 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						赤松 正規
2	精神医学的診察と診断 第4章：精神発達、第5章：精神医学的診察と診断、第6章：精神科治療学、 第7章：コンサルテーション・リエゾン精神医学 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						赤松 正規
3	精神医療と社会 第8章：精神医療と社会：精神保健、地域精神医療、災害精神医学 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						赤松 正規
4	児童精神疾患 神経症 第9章：発達障害その他の児童期の精神疾患、第13章：不安症・解離症・身体症状症 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						赤松 正規
5	統合失調症 第10章：統合失調症（概念、疫学、病態、症状、治療） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						戎 正司

6	うつ病 双極症 第11章：うつ病（疫学、診断、経過・予後、治療）第12章：双極性障害 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	戎 正司
7	強迫症 心的外傷及びストレス因関連症 接触症 第14章：強迫症、第15章：心的外傷およびストレス性障害、第16章：摂食障害 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	藤田 博一
8	睡眠・覚醒障害 第17章：睡眠・覚醒障害（不眠症、睡眠関連呼吸障害群、睡眠随伴症群） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	藤田 博一
9	物質関連障害および嗜癖性障害 第18章：物質関連障害および嗜癖性障害（薬物作用と依存形成、物質と精神疾患） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	藤田 博一
10	認知症総論 第19章：認知症（疫学、臨床所見、検査所見、治療） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	玉元 徹
11	認知症各論 第19章:認知症（アルツハイマー病、軽度認知症、前頭側頭型認知症、血管性認知症） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	玉元 徹
12	てんかん 第20章：てんかん（総論・各論、分類・検査・診断） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	玉元 徹
13	パーソナリティ症 第21章：パーソナリティ障害（概念、診断、病因・病態、予後・治療） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	玉元 徹
14	精神科で対応することのある他の疾患および状態 第22章：衝動制御症候群、性別違和、パラフィリア症群、性機能不全群） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	藤戸 良子
15	精神疾患の原因となりうる医学疾患・薬剤・化学物質 第23章：中枢性疾患、内分泌疾患、代謝障害による精神疾患） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	藤戸 良子
教科書	1. 標準精神医学／野村総一郎他／ 医学書院 第7版	
参考図書	1. 標準理学療法学・作業療法学 精神医学 医学書院	
成績評価	レポート課題（20%）、定期試験（80%）により評価し認定する。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門 基礎	小児科学	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	島崎 洋成：医学博士 医師 田野病院 小児科					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
出生前後から成長期における成長・発達と、その間にみられる主な疾患（感染症、先天異常、免疫・アレルギー疾患、消化器疾患、神経疾患、筋疾患、新生児・未熟児疾患、代謝異常、呼吸器疾患、循環器疾患、など）について、小児科学全般について網羅的にまとめて学習する。							
学 習 目 標							
1. 小児科の基本的な疾患を理解する。 2. 小児に特徴的な成長・発達について理解する。 3. 小児疾患に対する治療法を理解する。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担 当 教 員
1	総論 小児の成長・発達、保健（健診、予防接種、学校保健） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						島崎 洋成
2	感染症 症状、診断と治療、代表的感染症 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						島崎 洋成
3	先天奇形・染色体異常 先天異常と遺伝、遺伝と病気、染色体疾患、先天代謝異常 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						島崎 洋成
4	免疫・アレルギー疾患・膠原病 免疫システム、アレルギーの分類・診断・疾患、自己免疫疾患・膠原病各種 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						島崎 洋成
5	消化器疾患 消化器発生、機能的発達と症状、消化器疾患 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						島崎 洋成
6	神経疾患 1 診断と検査、中枢神経疾患（急性疾患、先天性疾患、その他） 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						島崎 洋成

7	神経疾患（重症心身障害児etc）2 てんかん、脳性麻痺、脊髄性疾患、末梢神経障害 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
8	筋疾患・骨・関節疾患 筋疾患（筋ジストロフィーなど）、骨関節疾患（側弯症、ヘルテス病、変形など） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
9	血液疾患 赤血球系の異常、白血球系の異常、出血性・血栓性疾患 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
10	新生児・未熟児疾患 新生児の評価と問題、未熟児の神経学的所見、新生児・周産期異常症状 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
11	循環器疾患 症状と検査、発症頻度と原因、先天性心疾患、後天性心疾患 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
12	呼吸器疾患 症状と検査、治療と処置、呼吸器疾患 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
13	内分泌・先天代謝異常 各種内分泌疾患、糖代謝異常（糖尿病、低血糖、肥満） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
14	腎・泌尿器疾患 検査、各種腎疾患、腎不全 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
15	まとめ 小児科学の臨床 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
教科書	1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野小児科学 編集 富田 豊 医学書院	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	定期試験成績（100%）により認定する。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	臨床心理学	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	鹿間 淳史：修士（児童学） 臨床心理士 高知ハーモニーホスピタル					実務経験のある 教員による科目	
授業概要							
臨床心理学は、人間の心理的課題の分析、支援、予防にかかわり、個人がよりよい適応を目指し、より力を発揮できるよう寄り添い、支える事を目的とした実践的学問である。研究を中心活動とする心理学の他の分野と比べ、実践活動の中からまとめられた考えも重視し、実践、研究、専門活動のそれぞれを統合しながら発展しようとしている新しい分野でもある。授業では、心理的課題をいかにアセスメントし、仮説を導き、介入していくかについて、臨床心理学の知見と実践を並走させながら紹介する。							
学習目標							
1. 主要な心理検査法、心理療法について理解する。 2. 仮説を導くための理論などを理解する。 3. 心理的課題を抱え生きる困難と力を理解する。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内 容						担当教員
1	第1章 リハビリテーションのための臨床心理学 事前学習（1時間）：臨床心理学と自身の専門と、どのように関連するのか考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						鹿間 淳史
2	第2章 心理アセスメントの方法と倫理 事前学習（1時間）：心をアセスメントするとはどういうことなのか考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						鹿間 淳史
3	第3章 心理検査 事前学習（1時間）：各心理検査について、簡単に調べておくこと。 事後学習（2時間）：復習および実際の検査用具に触れること。						鹿間 淳史
4	第4章 無意識の欲望を探る精神分析 1 事前学習（1時間）：無意識を探求する方法について考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						鹿間 淳史
5	第4章 無意識の欲望を探る精神分析 2 事前学習（1時間）：無意識と精神疾患との関係について考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						鹿間 淳史

6	第5章 行動や認知の変容・制御を目指す 1 事前学習（1時間）：精神分析と認知行動療法の違いについて考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
7	第5章 行動や認知の変容・制御を目指す 2 事前学習（1時間）：様々な認知行動療法の技法について事前に考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
8	第6章 人間の実現傾向を重視する 事前学習（1時間）：精神でも行動でもない第三のものは何か考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
9	第7章 さまざまな心理療法的アプローチ 1 事前学習（1時間）：第6章までに知ったアプローチ以外の方法について考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
10	第7章 さまざまな心理療法的アプローチ 2 事前学習（1時間）：なぜ様々なアプローチが生まれるのか考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
11	第8章 発達と心の問題 事前学習（1時間）：臨床において発達について考えることの重要性を考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
12	第9章 認知機能のアセスメントと支援 1 事前学習（1時間）：認知機能とは何か、復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
13	第9章 認知機能のアセスメントと支援 2 事前学習（1時間）：神経心理学的検査について事前の調べておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
14	第10章 臨床心理学の成り立ちと今後の展望 1 事前学習（1時間）：これまでの復習（特に心理検査）。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
15	第10章 臨床心理学の成り立ちと今後の展望 2 事前学習（1時間）：これまでの復習（特に心理療法）。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
教科書	1. リハビリテーションのための臨床心理学 牧瀬 英幹・著 南江堂 2021	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	講義中の課題（20%）、定期試験（80%）により評価し認定する	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	健康科学概論	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者		川村 博文：博士(医学) 理学療法士 宮口 英樹：博士(保健学) 作業療法士				実務経験のある 教員による科目	
授業概要							
健康の概念について理解し、健康を科学することの意義を学習します。健康状況の現状や健康に影響する要因の知識を修得し、リハビリテーション専門職として多職種の連携や行政と協働して健康増進につなげ、健康長寿を目指し、地域住民が健康で健やかな生活ができるような活動が実践できるように学習する。							
学習目標							
1. 健康の概念について理解し、健康を科学することの意義を理解する。 2. 健康状況の現状や健康に影響する要因を理解する。 3. 健康に対するアプローチ方法を理解する。 4. 健康科学に関する研究や症例の展望に関して理解する。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input checked="" type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input checked="" type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内 容						担当教員
1	健康科学とは 健康科学の意義と必要性について解説する。 事前学習(2時間)：シラバスを確認し、事前配布資料を確認しておくこと。 事後学習(2時間)：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、 問いについてまとめる。						川村 博文
2	データからみた健康 様々なデータを活用し健康について理解する。 事前学習(2時間)：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習(2時間)：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、 提示する問いについてまとめる。						川村 博文
3	健康と経済 経済格差と健康格差について解説する。 事前学習(2時間)：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習(2時間)：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、 提示する問いについてまとめる。						川村 博文
4	健康と社会 平均寿命と健康寿命について解説する。 事前学習(2時間)：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習(2時間)：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、 提示する問いについてまとめる。						川村 博文

5	<p>健康とライフスタイル</p> <p>ライフスタイルが健康に及ぼす影響について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	川村 博文
6	<p>健康と心</p> <p>ストレスとメンタルヘルスについて解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	川村 博文
7	<p>健康と運動</p> <p>健康づくりの支援や運動プログラムについて解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	川村 博文
8	<p>健康と環境</p> <p>感染症・環境汚染と健康との関係について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	川村 博文
9	<p>健康と職業</p> <p>働く人の健康や職種との関係性について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	川村 博文
10	<p>健康と予防</p> <p>認知症予防や介護予防について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	宮口 英樹
11	<p>健康と社会</p> <p>地域社会と健康づくり事業、行政職員との連携について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	宮口 英樹
12	<p>健康と学校保健</p> <p>子どもの体力と運動能力、学校教員との連携について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	宮口 英樹
13	<p>多職種におけるヘルスプロモーション</p> <p>ヘルスプロモーションにおける多職種連携の重要性について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	宮口 英樹
14	<p>健康科学における研究の紹介</p> <p>健康科学における研究の紹介をし、今後の研究の重要性について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	宮口 英樹

15	<p>未来の健康科学： 健康科学領域における将来の展望について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p> <p>定期試験に向けて復習しておくこと。</p>	宮口 英樹
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	定期試験（80%）および提出課題（20%）により総合的に評価する。	
オフィスアワー	川村：月曜日 12時30分～13時、宮口：水曜日 5 限目。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門 基礎	社会福祉学概論	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	稲垣 佳代：社会福祉学修士 高知県立大学助教 社会福祉学部					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
社会福祉の概念、法制、方法、動向などの基礎知識を習得する。さらに、具体の事例から、社会福祉の対象者が直面する「暮らしづらさ」とそれを支える社会福祉援助活動について考察することにより、実践科学としての社会福祉について理解を深める。講義を中心に展開する。							
学 習 目 標							
1. 社会福祉にかかわる基礎知識を習得する。 2. 社会福祉援助活動の基本的枠組みについて理解する。 3. 社会福祉実践における専門性と理学療法士、作業療法士が有する専門性の共通項と差異を認識し、臨床場面において社会福祉専門職と連携を図るために必要な視点を習得する。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	総論 人びとの暮らしとそれを支える社会の仕組みについて学ぶ 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						稲垣 佳代
2	社会福祉とはなにか I 社会福祉とは何か、社会福祉が実践で培ってきた理念について学ぶ 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						稲垣 佳代
3	社会福祉とはなにか II 社会福祉の対象と機能について学ぶ 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						稲垣 佳代
4	社会福祉の歴史 イギリスと日本の社会福祉の歴史を学ぶ 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						稲垣 佳代
5	社会福祉とニード ニード概念の定義や類型、ニード概念とパターナリズムの問題を学ぶ 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						稲垣 佳代
6	社会福祉にかかわる法律・制度・施策 I 日本における高齢者福祉・障害者福祉に係る法律・制度・施策を中心に学ぶ 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						稲垣 佳代

7	<p>社会福祉にかかわる法律・制度・施策Ⅱ</p> <p>日本における高齢者福祉・障害者福祉に係る法律・制度・施策を中心に学ぶ</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
8	<p>社会福祉にかかわる法律・制度・施策Ⅲ</p> <p>日本における高齢者福祉・障害者福祉に係る法律・制度・施策を中心に学ぶ</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
9	<p>社会福祉に従事する人びと</p> <p>社会福祉士や精神保健福祉士が活躍する場や所属機関での役割を学ぶ</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
10	<p>社会福祉援助活動の基本的枠組みⅠ</p> <p>社会福祉援助活動の目的、対象、方法などの基本的枠組みについて学ぶ</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
11	<p>社会福祉援助活動の基本的枠組みⅡ</p> <p>社会福祉援助活動の目的、対象、方法などの基本的枠組みについて学ぶ</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
12	<p>社会福祉援助活動の展開Ⅰ</p> <p>人びとの暮らしに生じる危機と社会福祉援助活動の具体的展開について学ぶ</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
13	<p>社会福祉援助活動の展開Ⅱ</p> <p>人びとの暮らしに生じる危機と社会福祉援助活動の具体的展開について学ぶ</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
14	<p>社会福祉とリハビリテーションの関係</p> <p>専門性の共通項と差異、連携を図るために必要な視点を学ぶ。</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
15	<p>まとめ</p> <p>これまでの学びを総括する</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
教科書	1. リハビリテーションのための臨床心理学 牧瀬 英幹・著 南江堂 2021	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	講義中の課題（30%）、定期試験（70%）により評価し認定する	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

**専門科目**  
**(理学療法学専攻)**

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門	運動分析学	演習	1	15	2	後期
担当教員							
科目責任者	榎 勇人：博士(工学) 理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
	渡邊 家泰：修士(心身健康科学) 理学療法士					○	
授 業 概 要							
<p>運動とは、姿勢（体位と構え）が時間的に連続して変化したものであり、動作とは運動によって具体的に行われるものである。理学療法の主目的は、対象者における動作の問題解決にあるが、そのためにはヒトの運動を正確にとらえ分析できる能力が理学療法士には求められる。本科目では、理学療法場面で広く行われている姿勢・動作分析の技術向上のため、グループワークを通して互いに分析部分を示しあいながら、動作を構成する運動を的確にとらえ記述できることを目的とする。</p>							
学 習 目 標							
<p>1.臨床における運動分析の目的を理解する。  2.運動を観察し分析することができる。  3.運動学的用語を用いて運動を記述できる。  4.正常から逸脱した運動を観察し、原因の仮説を立て、立証できる評価項目を立案できる。</p>							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input checked="" type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input checked="" type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担 当 教 員
1	<p>運動分析学総論  運動分析の方法について  事前学習（2時間）：シラバスを確認し、事前配布資料を熟読しておくこと。  事後学習（2時間）：講義資料を復習しておいてください。</p>						榎・渡邊
2	<p>運動分析実習  腕立て伏せ、push up動作について  事前学習（2時間）：筋収縮様式について復習しておいてください。また、次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味などを調べ理解しておいてください。  事後学習（2時間）：講義資料を復習し、動作についてグループで考察できるようにしてください。</p>						榎・渡邊
3	<p>基本動作の運動分析  寝返り、起き上がり、起立・着座動作の運動分析  事前学習（2時間）：基本動作について復習しておいてください。また、次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味などを調べ理解しておいてください。  事後学習（2時間）：講義資料を復習し、動作についてグループで考察できるようにしてください。</p>						榎・渡邊

4	<p>歩行分析の方法①</p> <p>歩行分析の基本、観察、分析のポイント、方法について</p> <p>事前学習（2時間）：歩行運動について復習しておいてください。また、次回の授業内容を 確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味などを調べ理解して おいてください。</p> <p>事後学習（2時間）：講義資料を復習し、動作についてグループで考察できるようにして ください。</p>	榎・渡邊
5	<p>歩行分析の方法②</p> <p>異常歩行の分析について</p> <p>事前学習（2時間）：歩行時の筋活動について復習しておいてください。また、次回の授業内 容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味などを調べ理解して おいてください。</p> <p>事後学習（2時間）：講義資料を復習し、動作についてグループで考察できるようにして ください。</p>	榎・渡邊
6	<p>臨床実践を目的とした運動分析</p> <p>臨床における運動分析の方法について</p> <p>事前学習（2時間）：日常生活に必要な動作について考えておいてください。 また、次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味 な どを調べ理解しておいてください。</p> <p>事後学習（2時間）：講義資料を復習し、動作についてグループで考察できるようにして ください。</p>	榎・渡邊
7	<p>整形外科疾患症例の運動分析</p> <p>膝関節・股関節疾患の運動分析について</p> <p>事前学習（2時間）：整形外科疾患の特徴について復習しておいてください。 また、次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味 な どを調べ理解しておいてください。</p> <p>事後学習（2時間）：講義資料を復習し、動作についてグループで考察できるようにして ください。</p>	榎・渡邊
8	<p>脳卒中片麻痺症例の運動分析</p> <p>脳卒中片麻痺の運動分析のポイントについて</p> <p>事前学習（2時間）：脳卒中の特徴や器具について復習しておいてください。 また、次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味 な ど用語の意味などを調べ理解しておいてください。</p> <p>事後学習（2時間）：講義資料を復習し、動作についてグループで考察できるようにして ください。</p>	榎・渡邊
教科書	石井慎一郎（編）：動作分析臨床活用講座，メジカルビュー社：2013 随時、資料を配付する。	
参考図書	適時紹介します。	
成績評価	定期試験成績（70%）、レポート課題（30%）により認定する。	
オフィスアワー	榎：火曜日 5限、渡邊：金曜日 5限。 なお、講義後も質問を受けつけます。 また、電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		

<p>実務経験のある 教員による授業</p>	<p>榎 勇人  実務経験：平成 9年4月～平成12年3月 高知県農協総合病院（現 J A 高知病院）に理学療法士として勤務  平成12年4月～平成26年3月 高知大学医学部附属病院に理学療法士として勤務  担当教員は、博士(工学)の学位を有しており、演習は、担当教員の一般病院・大学病院での多彩な臨床経験や教育・研究経験に基づいて行う。</p> <p>渡邊 家泰  実務経験：平成24年4月～平成26年10月 藤田医科大学病院に理学療法士として勤務  平成26年11月～平成29年3月 藤田医科大学 七栗記念病院に理学療法士として勤務  担当教員は、修士(心身健康科学)の学位を有しており、演習は、大学病院での多彩な臨床経験や教育・研究経験に基づいて行う。</p>
----------------------------	---

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	理学療法評価学実習	実習	1	30	2	後期
担当教員							
科目責任者	宮本 祥子：修士（学術）理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
	渡邊 家泰：修士(心身健康科学) 理学療法士					○	
授業概要							
臨床場面を想定し、学内授業で習得した障害評価の知識や技術を統合し、疾患と障害との関係や障害と生活環境の関連等を学習することを目的とする。障害評価を総合的に理解するために、模擬症例やグループ学習を多く取り入れ、思考能力と実践力を養う。							
学習目標							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各評価項目について、既修範囲を復習し、実践能力を高める。</li> <li>2. 疾患を想定し、検査・測定を実施できるようになる。</li> <li>3. 検査の意義を理解し、各障害に関する知識を統合する。</li> <li>4. 動作観察から問題点を想起できるようになる。</li> </ol>							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input checked="" type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input checked="" type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内 容						担当教員
1	<p>情報収集、カルテ情報の解釈            模擬症例を提示し、情報収集、カルテ情報の解釈をグループ学習を通して行う。            事前学習（30分）：シラバスを確認し、提示する動画を確認しておくこと。            事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。            実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。</p>						宮本・渡邊
2	<p>視診・触診の評価、Vital sign、メジャーメント            模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。            事前学習（30分）：配布資料を読み、Vital sign、メジャーメントに関する理学療法評価学、            形態評価学実習の講義内容を復習し、評価手順を確認しておくこと。            事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。            実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。</p>						宮本・渡邊
3	<p>関節可動域検査の実践            模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。            事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、関節可動域検査に関する形態評価学実習の講義            内容を復習し、評価手順を確認しておくこと。            事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。            実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。</p>						宮本・渡邊
4	<p>筋力の評価 MMTの実践            模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。            事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、筋力評価に関する神経機能評価学実習の講義            内容を復習し、評価手順を確認しておくこと。            事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。            実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。</p>						宮本・渡邊

5	<p>バランス能力の評価  模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。  事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、バランス能力評価に関する神経機能評価学実習の講義内容を復習し、評価手順を確認しておくこと。  事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。  実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。</p>	宮本・渡邊
6	<p>神経系の評価・演習（表在・深部感覚神経、運動麻痺）  模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。  事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、感覚評価に関する神経機能評価学実習の講義内容を復習し、評価手順を確認しておくこと。  事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。  実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。</p>	宮本・渡邊
7	<p>神経系の評価・実践（病的反射、筋緊張、運動失調など）  模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。  事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、反射評価に関する神経機能評価学実習の講義内容を復習し、評価手順を確認しておくこと。  事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。  実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。</p>	宮本・渡邊
8	<p>脳卒中片麻痺症例を想定した筋緊張・運動麻痺の評価  模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。  事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、脳卒中片麻痺症例に関する評価について神経機能評価学演習・神経理学療法学Ⅰの講義内容を復習し、評価手順を確認しておくこと。  事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。  実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。</p>	宮本・渡邊
9	<p>脳卒中片麻痺症例を想定した日常生活活動の評価  模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。  事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、脳卒中片麻痺症例に関する日常生活活動の評価について日常生活活動学・神経理学療法学Ⅰの講義内容を復習し、評価手順を確認しておくこと。  事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。  実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。</p>	宮本・渡邊
10	<p>各疾患の動作観察・動作分析① 運動器疾患  運動器疾患の模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。  事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、整形外科疾患に関する動作分析の評価について運動器理学療法学Ⅰ・動作分析学の講義内容を復習し、評価手順を確認しておくこと。  事後学習（30分）：動作を記述できるよう提示動画や参考書籍などで学習すること。</p>	宮本・渡邊
11	<p>各疾患の動作観察・動作分析② 中枢神経疾患  中枢神経疾患の模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。  事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、中枢神経疾患に関する動作分析の評価について神経理学療法学Ⅰ・動作分析学の講義内容を復習し、評価手順を確認しておくこと。  事後学習（30分）：動作を記述できるよう提示動画や参考書籍などで学習すること。</p>	宮本・渡邊
12	<p>障害を考慮した評価項目の立案  評価項目の立案、手順についてグループ学習を通して行う。  事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、理学療法評価学の講義内容を復習し、理学療法評価プロセスを確認しておくこと。  事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。</p>	宮本・渡邊

13	各評価結果からの統合と解釈① 運動器疾患の模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：配布資料の模擬症例を確認し、必要な知識・技術を整理しておくこと。 事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画・参考文献を確認すること。 統合と解釈を記述できるよう参考書籍などで学習すること。	宮本・渡邊
14	各評価結果からの統合と解釈② 中枢神経疾患の模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：配布資料の模擬症例を確認し、必要な知識・技術を整理しておくこと。 事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画・参考文献を確認すること。 統合と解釈を記述できるよう参考書籍などで学習すること。	宮本・渡邊
15	まとめ 理学療法評価の重要性を再認識し、臨床実習に向けた学習を行う。 事前学習（30分）：理学療法評価の総復習として必要ような知識・技術と臨床場面を整理しておくこと。 事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画・参考文献を確認すること。 定期試験に向けて学習すること。	宮本・渡邊
教科書	1. PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学 第2版 潮見泰藏・下田信明 羊土社 2019 2. PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定 編 第2版 才藤栄一 金原出版 2019 3. 骨格筋の形と触察法 第2版 河上敬介、磯貝香(著) 大峰閣 2013	
参考図書	1. 標準理学療法学 理学療法評価学 第3版 奈良勲(監) 医学書院 2019 2. 理学療法評価学 改訂第4版 松沢正, 江口勝彦 金原出版 2012	
成績評価	定期試験（50%）、口頭・実技試験（50%）により認定する。	
オフィスアワー	宮本（祥）：月曜日 5 限、渡邊：金曜日 5 時限目。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		
実務経験のある 教員による授業	宮本 祥子 実務経験：平成5年4月～平成8年3月 東大寺整肢園に理学療法士として勤務 担当教員は、修士(学術)の学位を有しており、実習は、小児施設での臨床経験および教育・研修経験に基づいて行う。 渡邊 家泰 実務経験：平成24年4月～平成26年10月 藤田医科大学病院に理学療法士として勤務 平成26年11月～平成29年3月 藤田医科大学 七栗記念病院に理学療法士として勤務 担当教員は、修士(心身健康科学)の学位を有しており、実習は、大学病院での多彩な臨床経験や教育・研究経験に基づいて行う。	

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	筋機能評価学実習	実習	1	30	2	前期
担当教員							
科目責任者		宮本 祥子：修士（学術）理学療法士					実務経験のある 教員による科目
		岡部 孝生：修士（教育学）理学療法士					○
授業概要							
筋機能評価学実習では筋機能（量的・質的）の評価方法を学習する。筋力低下の要因を理解し、徒手筋力検査法(MMT)を通して筋力の量的評価を実技演習を交えて学修する。また、量的側面だけでなく、質的側面としての筋機能と運動機能との関係やその評価、運動による筋機能の変化や加齢による筋機能変化（サルコペニア）を理解する。							
学習目標							
1. 筋機能評価の目的が理解できる。 2. 徒手筋力検査法(MMT)を正確に実施できる。 3. 筋機能と運動機能との関係性を理解できる。 4. 運動・加齢による筋機能の変化を理解できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input checked="" type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input checked="" type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内 容						担当教員
1	筋機能評価の概要 筋機能評価の目的と種類について解説します。 事前学習（30分）：シラバスを確認し、事前配布資料を確認し、解剖学・生理学の筋について復習しておくこと。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認してください。提示するGoogle フォームでの課題に取り組み、提出して下さい。						宮本・岡部
2	徒手筋力検査法について 徒手筋力検査法の原理・方法について解説します。 事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書を事前に読み、語句などを調べておいてください。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認すること。学習した実技手技に関して身につけることができるように繰り返し復習してください。						宮本・岡部
3	徒手筋力検査法①：下肢(1) 股関節周囲筋の筋力検査を、グループ学習で実技を行う。 事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書を事前に読み、筋名・起始停止、神経支配などを学習しておいてください。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認すること。学習した実技手技に関して身につけることができるように繰り返し復習してください。						宮本・岡部
4	徒手筋力検査法：下肢(2) 膝関節周囲筋の筋力検査を、グループ学習で実技を行う。 事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書を事前に読み、筋名・起始停止、神経支配などを学習しておいてください。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認すること。学習した実技手技に関して身につけることができるように繰り返し復習してください。						宮本・岡部

5	<p>徒手筋力検査法：下肢(3)</p> <p>足関節周囲筋の筋力検査を、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書を事前に読み、筋名・起始停止、神経支配などを学習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認すること。学習した実技手技に関して身につけることができるように繰り返し復習してください。</p>	宮本・岡部
6	<p>徒手筋力検査法：上肢(1)</p> <p>肩関節周囲筋の筋力検査を、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書を事前に読み、筋名・起始停止、神経支配などを学習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認すること。学習した実技手技に関して身につけることができるように繰り返し復習してください。</p>	宮本・岡部
7	<p>徒手筋力検査法：上肢(2)</p> <p>肘関節周囲筋の筋力検査を、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書を事前に読み、筋名・起始停止、神経支配などを学習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認すること。学習した実技手技に関して身につけることができるように繰り返し復習してください。</p>	宮本・岡部
8	<p>徒手筋力検査法：上肢(3)</p> <p>手関節・手指周囲筋の筋力検査を、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書を事前に読み、筋名・起始停止、神経支配などを学習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認すること。学習した実技手技に関して身につけることができるように繰り返し復習してください。</p>	宮本・岡部
9	<p>徒手筋力検査法：体幹・顔面</p> <p>体幹・顔面周囲筋の筋力検査を、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書を事前に読み、筋名・起始停止、神経支配などを学習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認すること。学習した実技手技に関して身につけることができるように繰り返し復習してください。</p>	宮本・岡部
10	<p>代償運動、</p> <p>筋力評価時の代償動作について事例を通して解説する。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書を事前に読み、筋名・起始停止、神経支配などを学習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認すること。学習した実技手技に関して身につけることができるように繰り返し復習してください。</p>	宮本・岡部
11	<p>筋機能と運動機能</p> <p>筋機能と運動機能との関係を解説する。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、筋力低下が及ぼす運動機能低下について学習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：紹介した参考文献を検索・確認し、まとめてみてください。</p>	宮本・岡部
12	<p>筋機能の評価</p> <p>客観的筋力評価法（等速度運動機器、HHD、握力計など）について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、客観的筋力評価方法について学習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認すること。学習した実技手技に関して身につけることができるように繰り返し復習してください。</p>	宮本・岡部

13	<p>運動による筋機能の変化</p> <p>運動による筋機能の変化、トレーニング効果について解説する。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、筋収縮様式など運動学の知識を復習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 紹介した参考文献を確認し、まとめてみてください。</p>	宮本・岡部
14	<p>疾患・加齢による筋機能変化</p> <p>疾患による筋機能変化、歩行などの動作への影響、リスク管理について解説する。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前み、疾患、。加齢の身体・運動機能変化について調べておいてください</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 紹介した参考文献を確認し、まとめてみてください。</p>	宮本・岡部
15	<p>加齢による筋機能変化</p> <p>サルコペニア、フレイル、ロコモティブシンドロームについて解説する。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、用語の確認しておいてください。 加齢と健康との関係についても調べておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 紹介した参考文献を確認し、まとめてみてください。</p>	宮本・岡部
教科書	<p>1. PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学 第2版 潮見泰藏・他 羊土社 2019</p> <p>2. PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定 編 第2版 才藤栄一 金原出版 2019</p> <p>3. 骨格筋の形と触察法 第2版 河上敬介、磯貝香(著) 大峰閣 2013</p>	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	定期試験（50％）、口頭・実技試験（50％）により認定する。	
オフィスアワー	宮本（祥）：月曜日 5 限、岡部：火曜日 5 時限目。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		
実務経験のある教員による授業	<p>宮本 祥子 実務経験：平成5年4月～平成8年3月 東大寺整肢園に理学療法士として勤務 担当教員は、修士(学術)の学位を有しており、実習は、担当教員の病小児施設での臨床経験および教育・研修経験に基づいて行う。</p> <p>岡部 孝生 実務経験：平成 9年4月～平成12年3月 朝倉病院に理学療法士として勤務 担当教員は、修士(教育学)の学位を有しており、実習は、病院での臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。また、体表解剖に関する研修会を多く経験している。</p>	



4	<p>反射検査</p> <p>反射の定義、評価の進め方、評価尺度について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、反射について生理学を復習しておくこと。 痛みの重要性について熟読しておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 実践できるように、繰り返し練習すること。</p>	榎・渡邊
5	<p>筋緊張検査</p> <p>筋緊張の定義、評価の進め方、評価尺度について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、解剖学・生理学の復習と筋緊張のメカニズムについて学習しておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 実践できるように、繰り返し練習すること。</p>	榎・渡邊
6	<p>意識障害・認知症の検査</p> <p>意識障害・認知症の定義、評価の進め方、評価尺度について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、生理学 I の高次脳機能についての復習をしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 実践できるように、繰り返し練習すること。</p>	榎・渡邊
7	<p>高次脳機能障害</p> <p>高次脳機能の定義、評価の進め方、評価尺度について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、生理学 I 高次脳機能についての復習をしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 実践できるように、繰り返し練習すること。</p>	榎・渡邊
8	<p>中枢神経障害に対する評価①</p> <p>脳卒中中の運動麻痺について、検査の進め方、各種検査、注意点について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：資料を事前に読み、運動麻痺の評価方法について学習しておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 実践できるように、繰り返し練習すること。</p>	榎・渡邊
9	<p>中枢神経障害に対する評価②</p> <p>脳卒中中の歩行障害・上肢機能障害について、検査の進め方、各種検査、注意点について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、歩行の運動学、神経機構について復習しておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 実践できるように、繰り返し練習すること。</p>	榎・渡邊
10	<p>協調性検査</p> <p>協調性運動について、検査の進め方、各種検査、注意点について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、運動の協調性について脳の解剖学・生理学の復習をしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 実践できるように、繰り返し練習すること。</p>	榎・渡邊
11	<p>バランス検査</p> <p>バランス検査の進め方、各種バランス検査について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、バランス機能について学習しておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 実践できるように、繰り返し練習すること。</p>	榎・渡邊

12	<p>発達検査 運動発達、粗大運動、微細運動、検査方法について解説し、グループ学習で実技を行う。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、人間発達学の復習をしておくこと。 事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 実践できるように、繰り返し練習すること。</p>	榎・渡邊
13	<p>運動制御と運動学習 脳機能と運動制御について解説し、演習を通して学習を深める。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、脳の構造と機能について学習しておくこと。 事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 実践できるように、繰り返し練習すること。</p>	榎・渡邊
14	<p>画像検査①（脳） 脳血管障害の脳画像（CT・MRI）について解説し、読影ができるように多くの画像をグループディスカッションを通して行う。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、脳の構造について復習し、画像の読影方法を確認しておくこと。 事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画・参考文献を確認すること。</p>	榎・渡邊
15	<p>画像検査②（脊椎・脊髄） 脊椎・脊髄疾患の脳画像（CT・MRI）について解説し、読影ができるように多くの画像をグループディスカッションを通して行う。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、脳の構造について復習し、画像の読影方法を確認しておくこと。 事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画・参考文献を確認すること。</p>	榎・渡邊
教科書	<p>1. PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学 第2版 潮見泰藏・下田信明 羊土社 2019 2. PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定 編 第2版 才藤 栄</p>	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	定期試験（50％）、口頭・実技試験（50％）により認定する。	
オフィスアワー	榎：火曜日 5 限、渡邊：金曜日 5 時限目。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項	打腱器の購入について事務連絡があるので事前に確認してください。	
実務経験のある教員による授業	<p>榎 勇人 実務経験：平成 9年4月～平成12年3月 高知県農協総合病院（現 J A 高知病院）に理学療法士として勤務 平成12年4月～平成26年3月 高知大学医学部附属病院に理学療法士として勤務 担当教員は、博士(工学)の学位を有しており、実習は、一般病院・大学病院での神経理学療法に関する多彩な臨床経験や教育・研究経験に基づいて行う。</p> <p>渡邊 家泰 実務経験：平成24年4月～平成26年10月 藤田医科大学病院に理学療法士として勤務 平成26年11月～平成29年3月 藤田医科大学 七栗記念病院に理学療法士として勤務 担当教員は、修士(心身健康科学)の学位を有しており、実習は、大学病院での神経理学療法に関する多彩な臨床経験や教育・研究経験に基づいて行う。</p>	

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	運動療法学	講義	1	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	竹林 秀晃：博士（医学）理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授業概要							
<p>運動療法は、理学療法の中で主要な治療技術である。運動療法とは「運動障害・予防を運動そのものを用いて維持・改善すること」である。本講義では、運動療法の歴史・位置付け・目的・方法・適応について学修する。また、各種機能障害に対する運動療法技術（関節機能、筋機能、強調運動、姿勢バランス、歩行）の理論を中心に学修し、神経科学的視点や加齢などを考慮することの重要性を理解する。</p>							
学習目標							
<p>1. 運動療法の特徴ならびに障害に対する運動療法の適応を理解する。  2. 正常な機能と病態生理を結びつけ、理学療法との関連性について理解する。  3. 基本的運動の種類・特徴・適応・注意点を理解する。  4. 各種運動療法の意義・理論を理解する。</p>							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>					○	
授業計画							
回	内 容						担当教員
1	<p>運動療法概論  運動療法の定義・歴史・目的・対象、禁忌などについて触れる。  事前学習（30分）：シラバスを確認し、該当する教科書を熟読しておくこと。  事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認すること。  講義内で学習したことを復習し、まとめておくこと。</p>						竹林 秀晃
2	<p>運動療法の基礎  運動の効果、トレーニングの基礎原理について触れる。  事前学習（30分）：事前配布資料・該当する教科書を熟読しておくこと。  事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認すること。  講義内で学習したことを復習し、まとめておくこと。</p>						竹林 秀晃
3	<p>基本運動  運動の種類、組織の病態生理と修復について触れる。  事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、筋の収縮様式など関連する運動学を復習しておくこと。  事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認すること。  講義内で学習したことを復習し、まとめておくこと。</p>						竹林 秀晃
4	<p>関節機能に対する運動療法  関節可動域運動の目的、種類、注意点、具体的方法について触れる。  事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、形態評価学演習の関節可動域検査について復習しておくこと。  事後学習（30分）：Googleフォームで提示した課題問題を提出すること。  講義内で学習したことを復習し、まとめておくこと。</p>						竹林 秀晃

5	筋機能に対する運動療法 筋力・持久力トレーニングの目的、種類、注意点、具体的方法について触れる。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、筋機能評価学実習の筋力評価について復習しておくこと。 事後学習（30分）：Googleフォームで提示した課題問題を提出すること。 講義内で学習したことを復習し、まとめておくこと。	竹林 秀晃
6	協調性障害に対する運動療法 協調性運動の目的、種類、注意点、具体的方法について触れる。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、神経機能評価学実習の協調性評価について復習しておくこと。 事後学習（30分）：Googleフォームで提示した課題問題を提出すること。 講義内で学習したことを復習し、まとめておくこと。	竹林 秀晃
7	姿勢・バランス障害に対する運動療法 姿勢制御のメカニズム、バランストレーニングの具体的方法について触れる。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、神経機能評価学実習のバランス評価について復習しておくこと。 事後学習（30分）：Googleフォームで提示した課題問題を提出すること。 講義内で学習したことを復習し、まとめておくこと。	竹林 秀晃
8	歩行障害に対する運動療法 歩行の神経機構、具体的方法について触れる。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、歩行に関する運動学、生理学の神経機構について復習しておくこと。 事後学習（30分）：Googleフォームで提示した課題問題を提出すること。 講義内で学習したことを復習し、まとめておくこと。	竹林 秀晃
9	脳科学・運動制御・運動学習と運動療法 最新の脳科学と運動制御・運動学習理論について触れる。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、解剖学・生理学の脳の構造・機能について復習しておくこと。 事後学習（20分）：Googleフォームで提示した課題問題を提出すること。 講義内で学習したことを復習し、まとめておくこと。	竹林 秀晃
10	神経機能に対する運動療法① 中枢神経障害（運動麻痺、感覚障害など）に対する運動療法の種類、注意点、具体的方法、最先端の理学療法について触れる。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、生理学の運動・感覚、神経機能評価学実習の運動麻痺・感覚障害について復習しておくこと。 事後学習（30分）：Googleフォームで提示した課題問題を提出すること。 講義内で学習したことを復習し、まとめておくこと。	竹林 秀晃
11	神経機能に対する運動療法 高次脳機能障害（失行・失認など）に対する運動療法の種類、注意点、具体的方法、最先端の理学療法について触れる。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、生理学の高次脳機能、神経機能評価学実習の高次脳機能障害について復習しておくこと。 事後学習（20分）：Googleフォームで提示した課題問題を提出すること。 講義内で学習したことを復習し、まとめておくこと。	竹林 秀晃
12	痛みに対する運動療法 痛みの定義と分類、種類、評価、アプローチ方法について触れる。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、生理学の感覚、神経機能評価学実習の痛みの評価について復習しておくこと。 事後学習（30分）：Googleフォームで提示した課題問題を提出すること。 講義内で学習したことを復習し、まとめておくこと。	竹林 秀晃

13	<p>加齢による機能障害に対する運動療法</p> <p>加齢による機能障害（サルコペニアなど）に対する運動療法、その効果について触れる。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、形態評価学演習の体組成計、筋機能評価学実習の加齢による筋機能変化について復習しておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：Googleフォームで提示した課題問題を提出すること。 講義内で学習したことを復習し、まとめておくこと。</p>	竹林 秀晃
14	<p>予防に対する運動療法</p> <p>転倒予防（フレイル）・認知症予防に対する運動療法について触れる。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、加齢による身体・認知機能の変化について学習しておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：Googleフォームで提示した課題問題を提出すること。 講義内で学習したことを復習し、まとめておくこと。</p>	竹林 秀晃
15	<p>まとめ</p> <p>運動療法の理論を整理し、理解を深める。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、今までの講義の復習をすること。</p> <p>事後学習（30分）：講義の復習をし、定期試験に向けて学習すること。</p>	竹林 秀晃
教科書	<p>1. 運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版 市橋則明 編 文光堂 2014</p> <p>2. 配布資料</p>	
参考図書	<p>1. 標準理学療法学 運動療法・総論 第5版 奈良勲監修 医学書院 2023</p> <p>2. 運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版 市橋則明 編 文光堂 2014 適宜紹介します。</p>	
成績評価	定期試験80%、講義中の課題20%にて評価する（100%）	
オフィスアワー	<p>水曜日 5 限。講義後も質問を受けつけます。</p> <p>また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。</p>	
留意事項		
実務経験のある 教員による授業	<p>竹林 秀晃</p> <p>実務経験：平成 9年4月～平成10年3月 京都大学医学部附属病院に理学療法士として研修</p> <p>担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、講義は、大学病院での臨床経験および教育・運動療法関連の研究経験に基づいて行う。</p>	

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	運動療法学実習	実習	1	30	2	後期
担当教員							
科目責任者		竹林 秀晃：博士（医学）理学療法士				実務経験のある 教員による科目	
		近藤 寛：修士（医科学）理学療法士				○	
授業概要							
<p>本科目は、運動療法学で学修した各種の運動療法の理論を実践できるようになることを目的とする。各種運動療法（関節可動域、筋力、持久力、感覚、協調性運動、姿勢・バランス、歩行など）に関して、基本的な技術の習得を目的に理論と実習を融合させた演習を展開する。</p>							
学習目標							
<p>1. 各種運動療法の理論と基本的な手技を理解する。  2. 各種運動療法の意義・目的・適応・禁忌を理解する。  3. 各種運動療法技術に必要な基礎的知識を理解する。</p>							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input checked="" type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input checked="" type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	<p>運動療法の基礎知識  前期で行った運動療法学の基礎知識を整理する。  事前学習（30分）：シラバスを確認し、配布資料・該当する教科書を熟読しておくこと。  事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認すること。</p>						竹林・近藤
2	<p>関節可動域制限に対する運動療法の実際  ストレッチ、関節運動学を考慮した方法など演習を通して技術を身につける。  事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、形態評価学演習の関節可動域検査、運動療法学の関節機能に対する運動療法について復習しておくこと。  事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。  実践できるように、実技を繰り返して練習すること。</p>						竹林・近藤
3	<p>筋力低下に対する運動療法の実際  筋力トレーニングの方法について演習を通して技術を身につける。  事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、筋機能評価学演習の筋力評価、運動療法学の筋機能に対する運動療法について復習しておくこと。  事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。  実践できるように、実技を繰り返して練習すること。</p>						竹林・近藤
4	<p>持久力低下に対する運動療法の実際  呼吸・循環・代謝の運動生理を理解し、持久力トレーニングの方法について演習を通して技術を身につける。  事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、生理学・生理学演習、運動生理学の呼吸・循環・代謝機能の復習、運動療法学の筋機能に対する運動療法について復習しておくこと。  事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。  実践できるように、実技を繰り返して練習すること。</p>						竹林・近藤

5	<p>感覚障害に対する運動療法の実際</p> <p>感覚の重要性を認識し、感覚障害に対する運動療法を演習を通して技術を身につける。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、生理学・生理学演習、神経機能評価学実習の感覚検査の復習しておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。</p> <p>実践できるように、実技を繰り返して練習すること。</p>	竹林・近藤
6	<p>協調性運動障害に対する運動療法の実際</p> <p>運動の協調性向上に向けた運動療法を演習を通して技術を身につける。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、神経機能評価学演習の協調性検査、運動療法学の協調性障害に対する運動療法の復習をしてしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。</p> <p>実践できるように、実技を繰り返して練習すること。</p>	竹林・近藤
7	<p>姿勢・バランス障害に対する運動療法の実際</p> <p>姿勢・バランストレーニングの方法を演習を通して技術を身につける。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、神経機能評価学演習のバランス検査、運動療法学の姿勢・バランス障害に対する運動療法の復習をしてしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。</p> <p>実践できるように、実技を繰り返して練習すること。</p>	竹林・近藤
8	<p>歩行障害に対する運動療法の実際</p> <p>歩行に対するトレーニングの方法を演習を通して技術を身につける。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、神経機能評価学実習の運動制御と運動学習、運動療法学の歩行障害に対する運動療法の復習をしてしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。</p> <p>実践できるように、実技を繰り返して練習すること。</p>	竹林・近藤
9	<p>中枢神経性運動麻痺に対する運動療法の実際</p> <p>運動制御に対する神経機構を理解し、運動麻痺に対するアプローチについて演習を通して技術を身につける。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、神経機能評価学実習の運動制御と運動学習、運動療法学の歩行障害に対する運動療法の復習をしてしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。</p> <p>実践できるように、実技を繰り返して練習すること。</p>	竹林・近藤
10	<p>高次脳機能障害に対する運動療法の実際</p> <p>高次脳機能障害に対する神経機構を理解し、アプローチについて演習を通して技術を身につける。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、生理学、神経機能評価学実習の高次脳機能障害、運動療法学の神経機能に対する運動療法の復習をしてしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。</p> <p>実践できるように、実技を繰り返して練習すること。</p>	竹林・近藤
11	<p>痛みに対する運動療法の実際</p> <p>痛みのメカニズムを理解し、アプローチについて演習を通して技術を身につける。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、神経機能評価学実習の痛みのメカニズム、運動療法学の痛みに対する運動療法の復習をしてしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。</p> <p>実践できるように、実技を繰り返して練習すること。</p>	竹林・近藤
12	<p>加齢による機能障害に対する運動療法の実際</p> <p>加齢による身体機能変化を理解し、アプローチについて演習を通して技術を身につける。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、運動療法学の加齢による機能障害に対する運動療法の復習をしてしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。</p> <p>実践できるように、実技を繰り返して練習すること。</p>	竹林・近藤

13	<p>予防に対する運動療法の実際</p> <p>転倒・認知症予防の最新理論を理解し、アプローチについて演習を通して技術を身につける。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、運動療法学の予防に対する運動療法の復習をしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 実践できるように、実技を繰り返して練習すること。</p>	竹林・近藤
14	<p>運動療法技術と理論</p> <p>技術と理論の関係性についてディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、今までの運動療法の理論・技術を復習しておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 ディスカッションの内容をまとめること。</p>	竹林・近藤
15	<p>まとめ</p> <p>運動療法についての知識と技術を整理し、臨床への応用についてディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、今までの運動療法の理論・技術を復習しておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：ディスカッションの内容をまとめること。 定期試験・口頭実技試験に向けて学習すること。</p>	竹林・近藤
教科書	<p>1. 運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版 市橋則明編 文光堂 2014</p> <p>2. 配布資料</p>	
参考図書	<p>1. 標準理学療法学 運動療法・総論 第5版 奈良勲監修 医学書院 2023</p> <p>2. 運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版 市橋則明編 文光堂 2014 適宜紹介します。</p>	
成績評価	定期試験（50％）、口頭・実技試験（50％）により認定する。	
オフィスアワー	竹林：水曜日5限目、近藤：金曜日5限目。講義後も質問を受けつけます。 また、各担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		
実務経験のある 教員による授業	<p>竹林 秀晃 実務経験：平成9年4月～平成10年3月 京都大学医学部附属病院に理学療法士として研修 担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、実習は、大学病院での臨床経験および教育・運動療法関連の研究経験に基づいて行う。</p> <p>近藤 寛 実務経験：平成22年4月～令和2年12月 高知大学医学部附属病院に理学療法士として勤務 担当教員は、修士(医科学)の学位を有しており、実習は、大学病院での多彩な臨床経験や教育・研究経験に基づいて行う。</p>	

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門	物理療法学	講義	1	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	菅原 仁：博士（医学）理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授 業 概 要							
<p>物理療法とは電気、温・寒熱、水、光線、力などの物理的エネルギーを生体に応用することによって、その機能の活性化と恒常性の維持・改善などを図る手法であり理学療法場面でも用いられる。物理療法学では、これらの理論的背景や作用機序、適応・禁忌を理解していく。物理療法総論を踏まえ温熱療法（ホットパック療法、パラフィン療法、赤外線療法、極超短波療法、超短波、超音波療法）、寒冷療法、極低温療法、光線療法（紫外線療法、レーザー光線療法）、牽引療法（頸椎牽引、腰椎牽引）、水治療法（全身浴、部分浴、交代浴）、電気刺激療法について学修する。</p>							
学 習 目 標							
<p>1.物理療法の概念を理解する。  2.各手法の作用機序を理解する。  3.理学療法における物理療法の位置付けを理解する。</p>							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>					○	
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	物理療法総論 物理療法の基礎について 事前学習（30分）：シラバスを確認し、該当する教科書を熟読しておくこと。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認し、課題に取り組むこと。						菅原 仁
2	温熱療法総論 温熱療法の基礎について 事前学習（30分）：事前配布資料・該当する教科書を熟読しておくこと。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認し、課題に取り組むこと。						菅原 仁
3	温熱療法各論① ホットパック療法、パラフィン療法、赤外線療法について 事前学習（30分）：事前配布資料・該当する教科書を熟読しておくこと。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認し、課題に取り組むこと。						菅原 仁
4	温熱療法各論② 極超短波療法、超短波、超音波療法について 事前学習（30分）：事前配布資料・該当する教科書を熟読しておくこと。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認し、課題に取り組むこと。						菅原 仁
5	寒冷療法総論 寒冷療法の基礎、一般寒冷療法、極低温療法について 事前学習（30分）：事前配布資料・該当する教科書を熟読しておくこと。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認し、課題に取り組むこと。						菅原 仁

6	寒冷療法各論 一般寒冷療法、極低温療法について 事前学習（30分）：配布資料を確認し、提示する疾患に関して復習をしておくこと。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認し、課題に取り組むこと。	菅原 仁
7	光線療法総論 光線療法の基礎について 事前学習（30分）：事前配布資料・該当する教科書を熟読しておくこと。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認し、課題に取り組むこと。	菅原 仁
8	光線療法各論 紫外線療法、レーザー光線療法について 事前学習（30分）：配布資料を確認し、提示する疾患に関して復習をしておくこと。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認し、課題に取り組むこと。	菅原 仁
9	水治療法総論 水治療法の基礎について 事前学習（30分）：事前配布資料・該当する教科書を熟読しておくこと。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認し、課題に取り組むこと。	菅原 仁
10	水治療法各論 全身浴、部分浴、交代浴について 事前学習（30分）：配布資料を確認し、提示する疾患に関して復習をしておくこと。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認し、課題に取り組むこと。	菅原 仁
11	牽引療法総論・各論 牽引療法の基礎、頸椎牽引、腰椎牽引について 事前学習（30分）：配布資料を確認し、提示する疾患に関して復習をしておくこと。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認し、課題に取り組むこと。	菅原 仁
12	電気刺激療法総論 電気刺激療法の基礎について 事前学習（30分）：事前配布資料・該当する教科書を熟読しておくこと。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認し、課題に取り組むこと。	菅原 仁
13	電気刺激療法各論① 経皮的神経電気刺激、微弱電流刺激、干渉波療法について 事前学習（30分）：配布資料を確認し、提示する疾患に関して復習をしておくこと。 事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画を確認すること。	菅原 仁
14	電気刺激療法各論② 神経筋電気刺激、機能的電気刺激療法、バイオフィードバック療法について 事前学習（30分）：配布資料を確認し、提示する疾患に関して復習をしておくこと。 事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画を確認すること。	菅原 仁
15	まとめ 物理療法の理論を整理し、リスク管理について理解する。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、物理療法に関する理論を整理すること。 事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画を確認すること。 定期試験に向けて学習すること。	菅原 仁
教科書	1.物理療法学、烏野大、川村博文、医歯薬出版株式会社、2021	
参考図書	1. EBM物理療法原著第4版、渡部一郎（訳）、医歯薬出版、2015	
成績評価	筆記試験（80%）、講義中課題（20%）にて評価する（100%）	
オフィスアワー	木曜日 11時00分～12時00分。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	

留意事項	
実務経験のある 教員による授業	<p>菅原 仁</p> <p>実務経験：平成 1年4月～平成10年3月 総合病院・大学附属病院に理学療法士として勤務する。</p> <p>担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、講義は、総合病院・大学病院での臨床経験および生理学関連の基礎研究で得た結果をベースに行う。</p>

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	物理療法学実習	実習	1	15	2	後期
担当教員							
科目責任者		菅原 仁：博士（医学）理学療法士				実務経験のある 教員による科目	
		岡部 孝生：修士（教育学）理学療法士				○	
授業概要							
物理療法とは電気、温・寒熱、水、光線、力などの物理的エネルギーを生体に応用することによって、その機能の活性化と恒常性の維持・改善などを図る手法であり理学療法場面でも用いられる。物理療法んの効果をに引き出すためには運動療法と物理療法とを適切に組み合わせることが重要となる。物理療法学で学習した理論をもとに各種物理療法演習を通して理解を深める。							
学習目標							
1.物理療法の概念を理解する。 2.各手法の理論的背景を理解し、実践できる。 3.適応と禁忌を考慮し、状態に応じて物理療法を選択できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input checked="" type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input checked="" type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内 容						担当教員
1	温熱療法の治療実習 グループワークにて温熱光線療法の治療実習 事前学習（2時間）：物理療法Ⅰ：温熱療法について復習し、配布資料で実技手順を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：実践できるように、実技を繰り返して練習すること。温熱療法の適応・禁忌について再確認しておくこと。						菅原・岡部
2	寒冷療法の治療実習 グループワークにて各種寒冷療法の治療実習 事前学習（2時間）：物理療法Ⅰ：寒冷療法について復習し、配布資料で実技手順を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：実践できるように、実技を繰り返して練習すること。寒冷療法の適応・禁忌について再確認しておくこと。						菅原・岡部
3	光線療法の治療実習 グループワークにて各種光線療法の治療実習 事前学習（2時間）：物理療法Ⅰ：光線療法について復習し、配布資料で実技手順を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：実践できるように、実技を繰り返して練習すること。光線療法の適応・禁忌について再確認しておくこと。						菅原・岡部
4	牽引療法の治療実習 グループワークにて牽引療法の治療実習 事前学習（2時間）：物理療法Ⅰ：牽引療法について復習し、配布資料で実技手順を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：実践できるように、実技を繰り返して練習すること。牽引療法の適応・禁忌について再確認しておくこと。						菅原・岡部

5	水治療法の治療実習 グループワークにて各種水治療法の治療実習 事前学習（2時間）：物理療法Ⅰ：水治療法について復習し、配布資料で実技手順を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：実践できるように、実技を繰り返して練習すること。水治療法の適応・禁忌について再確認しておくこと。	菅原・岡部
6	電気刺激療法の治療実習 グループワークにて各種電気刺激療法の治療実習 事前学習（2時間）：物理療法Ⅰ：電気刺激療法について復習し、配布資料で実技手順を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：実践できるように、実技を繰り返して練習すること。電気刺激療法の適応・禁忌について再確認しておくこと。	菅原・岡部
7	物理療法と運動療法 グループワークにて事例を通して物理療法と運動療法の実践についてディスカッション 事前学習（2時間）：物理療法理論と運動療法理論について復習しておくこと。 事後学習（2時間）：適応する疾患における物理療法理論と運動療法理論の関係性、適応性などについて再確認しておくこと。	菅原・岡部
8	まとめ 物理療法の知識を整理し、理解を深める。 事前学習（2時間）：今までの講義の総復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：定期試験、口頭・実技試験に向けて演習内容を確認すること。	菅原・岡部
教科書	1.物理療法学、鳥野大、川村博文、医歯薬出版株式会社、2021	
参考図書	1. EBM物理療法原著第4版、渡部一郎（訳）、医歯薬出版、2015	
成績評価	定期試験（50%）、口頭・実技試験（50%）により認定する。	
オフィスアワー	菅原：木曜日 11時00分～12時00分、岡部：火曜日 5限。 なお、講義後も質問を受けつけます。 また、電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		
実務経験のある 教員による授業	菅原 仁 実務経験：平成1年4月～平成10年3月 総合病院・大学附属病院に理学療法士として勤務する。 担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、講義は、総合病院・大学病院での臨床経験および生理学関連の基礎研究で得た結果をベースに行う。 岡部孝生 実務経験：平成9年4月～平成12年3月 朝倉病院に理学療法士として勤務 担当教員は、修士(教育学)の学位を有しており、実習は、病院での臨床経験および教育・物理療法関連の研究経験に基づいて行う。	

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	日常生活活動学	講義	1	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	井上 佳和：修士（教育学） 理学療法士 土佐リハビリテーションカレッジ					実務経験のある 教員による科目	○
授業概要							
障害を持つ人が尊厳を持ち自立した生活をおくることはリハビリテーションの目標であるが、そのためには、当然のことながら個々の対象者に適した日常生活活動の評価や指導が必要となる。そこで、この科目では理学療法士が基本動作をどのように評価し、またどのように指導していけばよいのかについて力学的な観点も踏まえ、理論を中心に展開していく。							
学習目標							
1. 日常生活活動の評価のポイントや代表的評価法の特徴を理解する。 2. 健常人の基本動作パターンを理解する。 3. 脳血管障害などに起因する片麻痺に対する起居移動動作練習の実際を理解し、指導できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input checked="" type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input checked="" type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	ADLの概念と範囲 ADLの概念と範囲について、歴史的変遷も踏まえながら理解する。 事前学習（30分）：シラバスを確認し、ICFについて復習しておいてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習してください。						井上 佳和
2	ADLとQOL QOLについて知ること、またADLとの関係について理解する。 事前学習（30分）：ADL・QOLの種類について復習しておいてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習してください。						井上 佳和
3	ADL評価のポイント 質的評価と量的評価について理解する。またそれぞれの特徴についても理解する。 事前学習（30分）：日常生活に必要な動作について考えておいてください。 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。						井上 佳和
4	できるADLとしているADL 「できるADL」と「しているADL」を解離させない方策について理解する。 事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。						井上 佳和
5	ADL評価の実際 代表的な量的ADL評価法について、構成、評価のポイントについて理解する。 事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。						井上 佳和

6	手段的ADL、QOL評価について 手段的ADLについてについて理解する。QOL評価法について知る。 事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。	井上 佳和
7	基本動作について 基本動作とは何か、について理解する。 事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。	井上 佳和
8	動作観察の基礎 手段的ADLについてについて理解する。QOL評価法について知る。 事前学習（20分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。	井上 佳和
9	車いす1 車いすの構造と種類について理解する。 事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。	井上 佳和
10	車いす2 車いす附属品の種類と特徴について理解する。 事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。	井上 佳和
11	車いすの採型 車いすの採型方法について理解する。 事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。	井上 佳和
12	片麻痺者のADL1 片麻痺者の障害特性を理解し、特有の動作パターンについて知る。 事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 脳卒中片麻痺の病態・評価について学習しておいてください 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。	井上 佳和
13	片麻痺者のADL2 片麻痺者のADL動作方法について理解する。 事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 脳卒中片麻痺の病態・評価について学習しておいてください 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。	井上 佳和
14	整形疾患患者のADL 整形疾患患者の障害特性を理解し、それぞれに対応したADL指導方法について知る。 事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 整形疾患（骨折・OA）について学習しておいてください 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。	井上 佳和
15	まとめ ADL・IADL・QOLについて整理し、理解を深める。 事前学習（30分）：今までの講義の総復習をしておくこと。 事後学習（30分）：定期試験に向けて講義内容を確認すること。	井上 佳和
教科書	1. PT・OTビジュアルテキストADL 第1版 柴 喜崇 編 羊土社 2. PT・OTのための臨床技能とOSCE 才藤 栄一 監修 金原出版社	
参考図書	適宜紹介する	
成績評価	筆記試験80%、講義中の課題20%にて評価する（100%）	

オフィスアワー	火曜日 5 限。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。
留意事項	
実務経験のある 教員による授業	井上佳和 実務経験：平成元年4月～平成7年3月 音羽病院に理学療法士として勤務 担当教員は、修士(教育学)の学位を有しており、講義は、一般病院での臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	日常生活活動学演習	演習	1	30	2	後期
担当教員							
科目責任者	井上 佳和：修士（教育学） 理学療法士 土佐リハビリテーションカレッジ					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授業概要							
障害を持つ人が尊厳を持ち自立した生活をおくることはリハビリテーションの目標であるが、そのためには、当然のことながら個々の対象者に適した日常生活活動の評価や指導が必要となる。この科目では、対麻痺・四肢麻、関節リウマチ、人工股関節術後のADLの特性とその指導方法、生活環境の評価とその改善計画についてグループ学習も展開しながら知識を深めていく。							
学習目標							
1. 杖、松葉杖などの補装具について、種類と適応を理解し、適切な調節ができる。 2. 生活環境の評価方法とその改善計画についての概要を理解できる。 3. 対麻痺者、四肢麻痺者、RA、THA術後者に対する起居移動動作練習の実際を理解し、指導できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input checked="" type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input checked="" type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	動作介入の意義・目的 ADL動作を改善していくための動作介入についてその意義や目的について知る。 事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。						井上 佳和
2	介入の仕方を理解するための基礎知識（正常動作分析含む） 介入方法について理解するための基礎知識について知る。 事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。						井上 佳和
3	片麻痺患者の日常生活動作 片麻痺者の障害特性の理解とそれに対応したADL介入について理解する。 事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。						井上 佳和
4	片麻痺患者の起居・移乗動作の評価・介入 片麻痺者の障害特性の理解とそれに対応した起居・移動動作介入について理解する。 事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。						井上 佳和
5	片麻痺患者のADLの評価・介入 片麻痺者の障害特性を理解し、その評価方法について理解する。 事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。 事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。						井上 佳和

6	<p>脊髄損傷者の日常生活動作</p> <p>脊髄損傷者の障害特性の理解とそれに対応したADL介入について理解する。</p> <p>事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。</p>	井上 佳和
7	<p>起居・移乗・移動・床上動作の評価・介入</p> <p>起居、移乗ならびに移動、床上動作の評価・介入について理解する。</p> <p>事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。</p>	井上 佳和
8	<p>食事関連の評価・介入</p> <p>食事動作の評価・介入について理解する。</p> <p>事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。</p>	井上 佳和
9	<p>更衣・排泄・整容・入浴関連の評価・介入</p> <p>更衣・排泄・整容・入浴関連の評価・介入について理解する。</p> <p>事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。</p>	井上 佳和
10	<p>各種福祉機器の機能構造の理解</p> <p>各種福祉機器の機能や構造、種類について理解する。</p> <p>事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。</p>	井上 佳和
11	<p>福祉用具を活用した介助法</p> <p>各種福祉機器の適応を知り、介助法について理解する。</p> <p>事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。</p>	井上 佳和
12	<p>コミュニケーション機器、自動車運転関連</p> <p>コミュニケーション機器と自動車運転関連機器について適応や種類について知る。</p> <p>事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。</p>	井上 佳和
13	<p>疾患別理学療法（中枢神経障害理学療法）</p> <p>中枢神経障害者のADL動作介入について理解する。</p> <p>事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。</p>	井上 佳和
14	<p>疾患別理学療法（運動器障害理学療法）</p> <p>運動器障害者のADL動作介入について理解する。</p> <p>事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。</p>	井上 佳和
15	<p>疾患別理学療法（神経・筋疾患）</p> <p>神経筋疾患者のADL動作介入について理解する。</p> <p>事前学習（30分）：指定した教科書の範囲を事前に確認しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：事後学習のための関連問題に回答し、完成させてください。</p>	井上 佳和
教科書	<p>1. PT・OTビジュアルテキストADL 第1版 柴 喜崇 編 羊土社</p> <p>2. PT・OTのための臨床技能とOSCE 才藤 栄一 監修 金原出版社</p>	
参考図書	適宜紹介する	
成績評価	定期試験（50％）、口頭・実技試験（50％）により認定する。	
オフィスアワー	火曜日 5 限。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	

留意事項	義肢に触れながら主体的に講義に取り組むこと。
実務経験のある 教員による授業	井上 佳和 実務経験：平成元年4月～平成7年3月 音羽病院に理学療法士として勤務 担当教員は、修士(教育学)の学位を有しており、講義は、一般病院での臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	装具学	講義	1	30	2	後期
担当教員							
科目責任者	川村 博文：博士(医学) 理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
	渡邊 家泰：修士(保健医療学) 理学療法士					○	
授業概要							
<p>装具療法は、理学療法の重要な治療手段の一つである。運動療法との併用によって、より高い治療効果を期待することができる。臨床においては、装具には傷病に応じた様々な種類が存在し、それを的確に選択し、治療に用いていくことが理学療法士には求められる。装具学では、理学療法における装具療法の位置付け等を確認するとともに、各装具の基本的構造、適切な選択基準、適合判定に関する知識・技術の修得だけでなく、工学・力学的特性等の理論的根拠も併せて学修する。また、実際に装具を装着し効果を確認したりする演習やグループ学習を通して治療の流れを理解する。</p>							
学習目標							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理学療法における装具療法の位置付けを理解する。</li> <li>2. 各種装具の種類、構造、適応、適合判定ができる。</li> <li>3. 症状に応じた基本的な装具療法の考え方や実施方法について理解する。</li> <li>4. 装具の製作・支給システムを理解する。</li> </ol>							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	<p>装具療法とは 装具の基本的な種類と機能、その構造について 事前学習(30分)：シラバスを確認し、配布資料・該当する教科書の項目を熟読しておいてください。 事後学習(30分)：Google classroomで配布した資料を確認し、まとめてください。</p>						川村・渡邊
2	<p>下肢装具総論・長下肢装具 下肢装具の一般的構造・長下肢装具の適応、チェックポイント、歩行動作の確認について 事前学習(30分)：配布資料・該当する教科書の項目を熟読しておいてください。 提示されている疾患について調べておいてください。 事後学習(30分)：提示するGoogleフォームでの課題に取り組んでください。</p>						川村・渡邊
3	<p>短下肢装具 短下肢装具の適応、チェックポイント、歩行動作の確認について 事前学習(30分)：配布資料・該当する教科書の項目を熟読しておいてください。 提示されている疾患について調べておいてください。 事後学習(30分)：提示するGoogleフォームでの課題に取り組んでください。</p>						川村・渡邊
4	<p>膝装具・靴型装具 膝装具・靴型装具の適応、チェックポイントについて 事前学習(30分)：配布資料・該当する教科書の項目を熟読しておいてください。 提示されている疾患について調べておいてください。 事後学習(30分)：提示するGoogleフォームでの課題に取り組んでください。</p>						川村・渡邊

5	<p>体幹装具総論・頸椎装具</p> <p>体幹装具の一般的構造・頸椎装具の適応、チェックポイントについて</p> <p>事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書の項目を熟読しておいてください。 提示されている疾患について調べておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組んでください。</p>	川村・渡邊
6	<p>腰仙椎装具・側弯症装具</p> <p>腰仙椎装具・側弯症装具の適応、チェックポイントについて</p> <p>事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書の項目を熟読しておいてください。 提示されている疾患について調べておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組んでください。</p>	川村・渡邊
7	<p>上肢装具（肩関節装具・肘関節装具・手関節装具）</p> <p>上肢装具の一般的構造・肩関節装具・肘関節装具・手関節装具の適応、チェックポイントについて</p> <p>事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書の項目を熟読しておいてください。 提示されている疾患について調べておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組んでください。</p>	川村・渡邊
8	<p>上肢装具（手部装具 腱損傷・末梢神経損傷）</p> <p>手部装具の適応、チェックポイント、腱損傷・末梢神経損傷に対する装具について</p> <p>事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書の項目を熟読しておいてください。 提示されている疾患について調べておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組んでください。</p>	川村・渡邊
9	<p>装具製作過程について</p> <p>装具製作過程を実践する。</p> <p>事前学習（30分）：資料を確認し、装具製作過程の動画を視聴して、まとめてください。</p> <p>事後学習（30分）：装具製作過程をまとめて、レポート提出してください。</p>	川村・渡邊
10	<p>補装具の支給について</p> <p>義肢装具の給付制度について</p> <p>事前学習（30分）：資料を確認し、装具給付制度について調べてまとめておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組んでください。</p>	川村・渡邊
11	<p>スポーツ用装具・インソール</p> <p>膝の靭帯損傷の装具を中心にスポーツ障害に対する装具療法について</p> <p>事前学習（30分）：資料を確認し、整形外科の対象疾患について調べておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料を復習してください。 紹介する動画を用いて学習を深めてください。</p>	川村・渡邊
12	<p>歩行補助装具・ロボットアシスト</p> <p>最新のロボットを用いた方法について</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を確認し、最新のテクノロジーを使ったりハビリテーションについて調べておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 最新のテクノロジーの応用について調べてください。</p>	川村・渡邊
13	<p>疾患別装具1</p> <p>脳卒中に対する装具療法について事例を通してグループワークを行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を確認し、対象疾患について調べておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画を確認すること。 提示症例に対する装具適応の課題を提出すること。</p>	川村・渡邊
14	<p>疾患別装具2</p> <p>整形外科疾患に対する装具療法について事例を通してグループワークを行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を確認し、対象疾患について調べておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画を確認すること。 提示症例に対する装具適応の課題を提出すること。</p>	川村・渡邊

15	<p>まとめ</p> <p>装具療法について整理し、理解を深める。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を確認し、今までの講義の復習をしておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：臨床実践できるように装具に触れて学習を深めてください。</p> <p>定期試験に向けて学習してください。</p>	川村・渡邊
教科書	高田治実：PT・OTビジュアルテキスト 義肢・装具学 羊土社	
参考図書	<p>1. 渡邊英夫, 他 : 脳卒中の下肢装具 第4版, 医学書院</p> <p>2. 加倉井周一, 他(編) : 新編 装具治療マニュアル, 医歯薬出版</p>	
成績評価	定期試験結果(80%)、講義中の課題(20%)を総合的に評価	
オフィスアワー	川村：水曜日 12時30分～13時、渡邊：金曜日 5限。講義後も質問を受けつけます。 また、各担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項	装具に触れながら主体的に講義に取り組むこと。	
実務経験のある 教員による授業	<p>川村 博文 実務経験：昭和56年6月～平成12年3月 高知大学医学部附属病院に理学療法士として勤務 担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、講義は、大学病院での多彩な疾患に対する装具を活用した臨床経験や教育・装具学関連の研究経験に基づいて行う。</p> <p>渡邊 家泰 実務経験：平成24年4月～平成26年10月 藤田医科大学病院に理学療法士として勤務 平成26年11月～平成29年3月 藤田医科大学 七栗記念病院に理学療法士として勤務 担当教員は、修士(心身健康科学)の学位を有しており、講義は、大学病院での装具に関する多彩な臨床経験や教育・研究経験に基づいて行う。</p>	

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門	神経理学療法学 I	講義	1	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	榎 勇人：博士（医学）理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授 業 概 要							
本講義では、神経疾患の中でも理学療法の対象となることの多い脳血管障害について講義する。講義内容は、脳血管障害の病態、障害像、治療方法、理学療法評価法、脳血管障害に対する理学療法、最新治療を説明していく。また、実際の臨床で活かすことができるよう理学療法の実践も学修する。							
学 習 目 標							
1.脳血管障害の病態分類を説明できる。 2.脳血管障害の障害像を把握できる。 3.脳血管障害の理学療法評価の項目を抽出し、実践できる。 4.脳血管障害の理学療法を説明できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>					○	
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	神経理学療法概論 神経理学療法の捉え方、身体性システムについて解説する。 事前学習（30分）：シラバスを確認し、神経系の解剖学・生理学の復習をして 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習すること。						榎 勇人
2	脳血管障害の病態分類 脳卒中の原因と病態、脳卒中のチーム医療・医療連携について解説する。 事前学習（30分）：単元の事前学習としてテキストの範囲を通読しておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習すること。						榎 勇人
3	脳血管障害に対する（内科的・外科的）治療法 脳卒中の内科的・外科的治療、予後について解説する。 事前学習（30分）：単元の事前学習としてテキストの範囲を通読しておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習すること。						榎 勇人
4	脳画像 脳画像と診断、経時変化、各動脈と支配領域、各種経路の把握について解説する。 事前学習（30分）：単元の事前学習としてテキストの範囲を通読しておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習すること。						榎 勇人
5	脳血管障害の障害像① 疾病・障害をめぐる概念枠組みと分類について解説する。 事前学習（30分）：単元の事前学習としてテキストの範囲を通読しておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習すること。						榎 勇人

6	脳血管障害の障害像② 神経の可塑性、機能回復機序、影響する因子について解説する。 事前学習（30分）：単元の事前学習としてテキストの範囲を通読しておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習すること。	榎 勇人
7	脳血管障害に対する理学療法評価① 総合評価、各種身体機能評価について解説する。 事前学習（30分）：単元の事前学習としてテキストの範囲を通読しておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習すること。	榎 勇人
8	脳血管障害に対する理学療法評価② 基本動作・日常生活活動分析について解説する。 事前学習（30分）：単元の事前学習としてテキストの範囲を通読しておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習すること。	榎 勇人
9	脳血管障害に対する理学療法評価③ 統合と解釈、目標設定について解説する。 事前学習（30分）：単元の事前学習としてテキストの範囲を通読しておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習すること。	榎 勇人
10	高次脳機能障害① 半側空間無視、身体失認・病態失認について解説する。 事前学習（30分）：単元の事前学習としてテキストの範囲を通読しておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習すること。	榎 勇人
11	高次脳機能障害② 失行、注意・遂行機能障害について解説する。 事前学習（30分）：単元の事前学習としてテキストの範囲を通読しておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習すること。	榎 勇人
12	脳血管障害に対する理学療法プログラム① 急性期の理学療法について解説する。 事前学習（30分）：単元の事前学習としてテキストの範囲を通読しておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習すること。	榎 勇人
13	脳血管障害に対する理学療法プログラム② 回復期の理学療法について解説する。 事前学習（30分）：単元の事前学習としてテキストの範囲を通読しておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習すること。	榎 勇人
14	脳血管障害に対する理学療法プログラム③ 歩行障害へのアプローチ、ニューロリハビリテーションについて解説する。 事前学習（30分）：単元の事前学習としてテキストの範囲を通読しておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習すること。	榎 勇人
15	まとめ 脳血管障害の理学療法について整理し、多(他)職種との連携について解説する。 事前学習（30分）：全講義の復習しておくこと。 事後学習（30分）：定期試験に向けて学習すること。	榎 勇人
教科書	1. 標準理学療法学 神経理学療法学 吉尾雅春・森岡周 医学書院 2. 吉尾雅春・阿部浩明：極める！脳卒中リハビリテーション必須スキル，株式会社gene	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	定期試験成績（80％）、講義中の課題（20％）により認定する。	
オフィスアワー	火曜日 5 限。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	

留意事項	
実務経験のある 教員による授業	<p>榎 勇人</p> <p>実務経験：平成 9年4月～平成12年3月 高知県農協総合病院（現 J A 高知病院）に理学療法士として勤務</p> <p>平成12年4月～平成26年3月 高知大学医学部附属病院に理学療法士として勤務</p> <p>担当教員は、博士(工学)の学位を有しており、講義は、一般病院・大学病院での神経理学療法(脳血管障害)に関する多彩な臨床経験や教育・研究経験に基づいて行う。</p>

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門	神経理学療法学Ⅱ	講義	1	30	2	後期
担当教員							
科目責任者	川村 博文：博士（医学）理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授 業 概 要							
本講義では、神経疾患の中で理学療法の対象となる頻度が多いパーキンソン病や小脳障害に基づく運動失調、神経筋疾患、脊髄損傷をとりあげ、その病態、障害像、評価、理学療法を理解することを目的とする。							
学 習 目 標							
1. パーキンソン症候群の理学療法について説明できる。 2. 運動失調症の理学療法について説明できる。 3. 神経筋疾患の理学療法について説明できる。 4. 脊髄損傷の理学療法について説明できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担 当 教 員
1	パーキンソン症候群の病態概要 疫学、病態、症状、治療、経過について 事前学習（30分）：シラバスを確認し、神経系の解剖学・生理学の復習をしておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習してください。						川村 博文
2	パーキンソン症候群の理学療法評価 機能障害、活動制限、UPDRS、薬物療法、日内変動への配慮、歩行の特徴について 事前学習（30分）：事前提示するキーワードについて事前に調べた上で受講してください。 事後学習（30分）：講義資料・提示動画を用いて復習してください。						川村 博文
3	パーキンソン病の理学療法 病期別理学療法、介入方法、最新のリハビリテーションについて 事前学習（30分）：事前提示するキーワードについて事前に調べた上で受講してください。 事後学習（30分）：講義資料を復習、紹介する文献を熟読しておいてください。						川村 博文
4	運動失調症の病態と症状 脊髄小脳変性症の病型、症状、理学所見、治療について 事前学習（30分）：事前提示するキーワードについて事前に調べた上で受講してください。 事後学習（30分）：講義資料を復習、紹介する文献を熟読しておいてください。						川村 博文
5	運動失調症と理学療法評価 運動失調症の障害構造、主な評価項目について 事前学習（30分）：事前提示するキーワードについて事前に調べた上で受講してください。 事後学習（30分）：講義資料を復習、紹介する文献を熟読しておいてください。						川村 博文

6	運動失調症の理学療法 重症度による理学療法、リスク管理、理学療法の実際について 事前学習（30分）：事前提示する症例について事前に調べた上で受講してください。 事後学習（30分）：講義資料を復習、紹介する文献を熟読しておいてください。	川村 博文
7	神経筋疾患の病態と症状 各種神経筋疾患の病態と症状について 事前学習（30分）：事前提示するキーワードについて事前に調べた上で受講してください。 事後学習（30分）：講義資料を復習、紹介する文献を熟読しておいてください。	川村 博文
8	神経筋患の理学療法 神経難病の理学療法について 事前学習（30分）：事前提示するキーワードについて事前に調べた上で受講してください。 事後学習（30分）：講義資料を復習、紹介する文献を熟読しておいてください。	川村 博文
9	脊髄損傷の総論 脊髄損傷の原因・診断と予後判定 事前学習（30分）：事前提示するキーワードについて事前に調べた上で受講してください。 事後学習（30分）：講義資料を復習、紹介する文献を熟読しておいてください。	川村 博文
10	脊髄不全損傷・完全損傷の症状の概説 脊髄不全損傷の特殊型、完全損傷の症状の概説 事前学習（30分）：事前提示するキーワードについて事前に調べた上で受講してください。 事後学習（30分）：講義資料を復習、紹介する文献を熟読しておいてください。	川村 博文
11	脊髄損傷の障害像 1 脊髄損傷の運動機能障害 事前学習（30分）：事前提示するキーワードについて事前に調べた上で受講してください。 事後学習（30分）：講義資料を復習、紹介する文献を熟読しておいてください。	川村 博文
12	脊髄損傷の障害像 2 脊髄損傷の感覚機能障害、自律神経障害、合併症 排尿機構、排尿管理 事前学習（30分）：事前提示するキーワードについて事前に調べた上で受講してください。 事後学習（30分）：講義資料を復習、紹介する文献を熟読しておいてください。	川村 博文
13	脊髄損傷に対する理学療法評価 脊髄損傷に対する理学療法評価 事前学習（30分）：事前提示するキーワードについて事前に調べた上で受講してください。 事後学習（30分）：講義資料を復習、紹介する文献を熟読しておいてください。	川村 博文
14	脊髄損傷に対する理学療法の実際 1 残存機能別の理学療法の実際 事前学習（30分）：事前提示するキーワードについて事前に調べた上で受講してください。 事後学習（30分）：講義資料を復習、紹介する文献を熟読しておいてください。	川村 博文
15	脊髄損傷に対する理学療法の実際 2 残存機能別の理学療法の実際 事前学習（30分）：神経理学療法Ⅱの総復習をし、まとめてください。 事後学習（30分）：定期試験に向けての準備をしておいてください。	川村 博文
教科書	1. 標準理学療法学 神経理学療法学 吉尾雅春・森岡周 医学書院 2. 吉尾雅春・阿部浩明：極める！脳卒中リハビリテーション必須スキル, 株式会社gene	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	定期試験成績（80%）、講義中の課題（20%）により認定する。	

オフィスアワー	月曜日 5 限。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。
留意事項	
実務経験のある 教員による授業	川村 博文 実務経験：昭和56年6月～平成12年3月 高知大学医学部附属病院に理学療法士として勤務 担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、講義は、大学病院での多彩な神経系疾患に対する理学療法における臨床経験や教育・研究経験に基づいて行う。

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門	運動器理学療法学 I	講義	1	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	奥田 教宏：博士（医学）理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授 業 概 要							
<p>本科目は、理学療法の対象として多い外傷（骨折・脱臼,等）、変形性関節症（股関節・膝関節・足関節,等）について取りあげる。また、これらの疾患に対する病態や整形外科的な検査方法や治療方法を解説するとともに理学療法評価やプログラムについて理解を深める。</p>							
学 習 目 標							
<p>1. 運動器障害理学療法に必要な整形外科疾患の概要を理解する。  2. 整形外科疾患の病態と整形外科治療の内容を把握する。  3. 整形外科疾患に対する理学療法評価とプログラム立案・実技を理解する。</p>							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>					○	
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	骨折の整形外科 骨の構造と働き、骨折の分類、臨床症状、治癒過程、治療、合併症、について 事前学習（30分）：骨についての解剖学を復習し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：講義内容の復習すること。						奥田 教宏
2	骨折の整形外科治療 各種骨折の整形外科治療（整復、固定：創外固定・外固定・内固定）、リスク管理 事前学習（30分）：教科書の該当ページについて一読し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：紹介する動画を確認すること。						奥田 教宏
3	骨折の障害像 各種骨折の障害像 事前学習（30分）：教科書の該当ページについて一読し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：紹介する参考文献を確認すること。						奥田 教宏
4	骨折の理学療法評価 各種骨折の理学療法評価のポイント 事前学習（30分）：教科書の該当ページについて一読し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：評価実技の確認すること。						奥田 教宏
5	骨折の理学療法治療 各種骨折の理学療法のポイント 事前学習（30分）：教科書の該当ページについて一読し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：理学療法治療実技の確認すること。						奥田 教宏

6	高齢者による骨折の理学療法 大腿骨近位部骨折折中心に症例に対する理学療法評価・理学療法 事前学習（30分）：教科書の該当ページについて一読し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：模擬症例に関する課題を完成させること。	奥田 教宏
7	骨折の理学療法実技 骨折に対する理学療法の実践ポイント 事前学習（30分）：実技の手順について確認しておくこと。 事後学習（30分）：理学療法実技の確認すること。	奥田 教宏
8	変形性関節症の整形外科 定義、発生機序、機能障害、基本動作、ADL障害などについて 事前学習（30分）：教科書の該当ページについて一読し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：紹介する動画を確認すること。	奥田 教宏
9	変形性股関節症の障害構造と理学療法評価 変形性股関節症の障害構造と理学療法評価（問診、疼痛、形態計測、ROM、筋力、動作分析） について 異常歩行原因分析 事前学習（30分）：教科書の該当ページについて一読し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：評価実技の確認すること。	奥田 教宏
10	変形性股関節症の理学療法 変形性股関節症に対する運動療法、人工股関節全置換術のリスク管理、ADL指導 事前学習（30分）：実技の手順について確認しておくこと。 事後学習（30分）：理学療法実技の確認すること。	奥田 教宏
11	変形性膝関節症の障害構造と理学療法評価 変形性膝関節症の障害構造と理学療法評価（問診、疼痛、形態計測、ROM、筋力、動作分析） について 異常歩行原因分析 事前学習（30分）：教科書の該当ページについて一読し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：評価実技の確認すること。	奥田 教宏
12	変形性膝関節症の理学療法 変形性膝関節症に対する運動療法、人工股関節全置換術のリスク管理、ADL指導 事前学習（30分）：実技の手順について確認しておくこと。 事後学習（30分）：理学療法実技の確認すること。	奥田 教宏
13	その他の変形性関節症の理学療法（足関節,等） 変形性足関節症、変形性肩関節症について 事前学習（30分）：教科書の該当ページについて一読し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：紹介する動画を確認すること。	奥田 教宏
14	変形性関節症の理学療法の実践 変形性膝関節症・変形性股関節症の理学療法のポイント 事前学習（30分）：実技の手順について確認しておくこと。 事後学習（30分）：理学療法実技の確認すること。	奥田 教宏
15	まとめ 運動器理学療法について整理し、多（他）職種との連携について解説する。 事前学習（30分）：各疾患について確認しておくこと。 事後学習（30分）：各疾患のエビデンスについての確認すること。	奥田 教宏
教科書	1. 整形外科リハビリテーション 神野哲也監修 羊土社 2. 運動療法に役立つ 単純X線像の読み方 青木隆明監修 MEDICAL VIEW	
参考図書	1. ここがポイント！整形外科疾患の理学療法 富士武史監修 2. 結果の出せる整形外科理学療法 運動連鎖から全身をみる 山口光圀・他著 MEDICAL VIEW	
成績評価	定期試験成績（80％）、講義中の課題（20％）により認定する。	
オフィスアワー	月曜日5限。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	

留意事項	
実務経験のある 教員による授業	<p>奥田 教宏</p> <p>実務経験：平成17年4月～平成25年3月 三豊市立西香川病院に理学療法士として勤務</p> <p>担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、講義は、一般病院での多彩な運動器理学療法における臨床経験や教育・研究経験に基づいて行う。</p>

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門	運動器理学療法Ⅱ	講義	1	30	2	後期
担当教員							
科目責任者	奥田 教宏：博士（医学）理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授 業 概 要							
運動器理学療法Ⅰに引き続き、理学療法の対象となる代表的な整形外科疾患に対する理学療法を学習する。ここでは、肩関節疾患（腱板断裂、肩関節周囲炎）、末梢神経損傷、関節リウマチ、脊椎疾患を取り上げ、これらの疾患に対する基礎的学習や理学療法評価、理学療法プログラムについて実技も含めて理解を深める。							
学 習 目 標							
1. 運動器障害理学療法に必要な整形外科疾患の概要を理解する。 2. 整形外科疾患の病態と整形外科治療の内容を把握する。 3. 整形外科疾患に対する理学療法評価とプログラム立案・実技を理解する。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	肩関節の基礎・肩関節疾患の整形外科学 肩関節の基礎の復習、代表的な肩関節疾患 事前学習（30分）：シラバスを確認し、解剖学・整形外科学、肩関節の運動学を復習し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：Google classroomで配布した資料を確認すること。						奥田 教宏
2	肩関節疾患の理学療法評価・治療 各種疾患の特徴と徒手検査、理学療法評価の実際 事前学習（30分）：解剖学・整形外科学を復習し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。						奥田 教宏
3	肩関節疾患の理学療法実技 肩関節疾患に対する理学療法のポイント（運動療法、物理療法、ADL指導） 事前学習（30分）：実技の手順について確認しておくこと。 事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。						奥田 教宏
4	末梢神経の構造と機能・末梢神経損傷の整形外科学 末梢神経の構造、損傷タイプ、修復過程、手術療法 事前学習（30分）：配布資料を事前に読んでおくこと。 事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。						奥田 教宏
5	末梢神経損傷の障害構造・理学療法評価 末梢神経損傷の理学療法評価のポイント 事前学習（30分）：解剖学・整形外科学を復習し、筋の支配神経を確認し講義に臨むこと。 事後学習（30分）：講義内容の復習、参考文献を確認すること。						奥田 教宏

6	末梢神経損傷の理学療法 腕神経叢損傷含め知覚評価、再教育訓練、リスク管理、ADL指導について 事前学習（30分）：解剖学・整形外科学を復習し、筋の支配神経を確認し講義に臨むこと。 事後学習（30分）：模擬症例に関する課題を完成させること。	奥田 教宏
7	関節リウマチの障害構造・理学療法評価 疾患・障害の概要、診断基準、経過、医学的治療、薬物療法 事前学習（30分）：整形外科学を復習し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：講義内容の復習、参考文献を確認すること。	奥田 教宏
8	関節リウマチの理学療法 理学療法評価（情報収集、検査測定）、理学療法の実際 事前学習（30分）：教科書の該当ページについて一読し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：模擬症例に関する課題を完成させること。	奥田 教宏
9	脊椎疾患の病態・整形外科 腰痛の病態と発症メカニズム、急性痛と慢性痛、整形外科学 事前学習（30分）：整形外科学を復習し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：講義内容の復習、参考文献を確認すること。	奥田 教宏
10	腰椎疾患の理学療法評価 理学療法評価プロセス 事前学習（30分）：理学療法評価学関連の復習をし、手順について確認しておくこと。 事後学習（30分）：理学療法評価方法の確認すること。	奥田 教宏
11	腰椎疾患の理学療法治療 理学療法（運動療法、物理療法、腰痛体操、ADL指導） 事前学習（30分）：治療手順について確認しておくこと。 事後学習（30分）：理学療法の実践として実施できるように確認すること。	奥田 教宏
12	腰椎疾患における慢性疼痛に対するリハビリテーション 慢性疼痛が及ぼす影響、多職種連携の重要性 事前学習（30分）：事前に配布する参考文献を一読し、講義に臨むこと。 事後学習（30分）：模擬症例に関する課題を完成させること。	奥田 教宏
13	頸椎疾患の理学療法評価 頸椎疾患の概要、各種疾患の特徴、理学療法評価 事前学習（30分）：神経支配を確認し、評価手順について確認しておくこと。 事後学習（30分）：理学療法評価方法の確認すること。	奥田 教宏
14	頸椎疾患の理学療法治療 頸椎疾患の理学療法、手術療法、リスク管理 事前学習（30分）：治療手順について確認しておくこと。 事後学習（30分）：理学療法治療に関する参考文献を確認すること。	奥田 教宏
15	頸椎疾患に対する理学療法の実践 脊椎術後の理学療法のポイント 事前学習（30分）：治療手順について確認しておくこと。 事後学習（30分）：理学療法の実践として実施できるように確認すること。	奥田 教宏
教科書	1. PT・OTビジュアルテキストADL 第1版 柴 喜崇 編 羊土社 2. PT・OTのための臨床技能とOSCE 才藤 栄一 監修 金原出版社	
参考図書	適宜紹介する	
成績評価	定期試験成績（80%）、講義中の課題（20%）により認定する。	
オフィスアワー	月曜日5限。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	

留意事項	
実務経験のある 教員による授業	<p>奥田 教宏</p> <p>実務経験：平成17年4月～平成25年3月 三豊市立西香川病院に理学療法士として勤務</p> <p>担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、講義は、一般病院での多彩な運動器理学療法における臨床経験や教育・研究経験に基づいて行う。</p>

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	地域リハビリテーション学	講義	1	15	2	後期
担当教員							
科目責任者	竹林 秀晃：博士（医学）理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
	滝本 幸治：博士（医学）理学療法士 奈良学園大学					○	
授業概要							
<p>昨今、理学療法士・作業療法の職域は拡大し、医療分野のみならず保健・福祉領域における貢献が求められている。本講義では、前半に本邦の高齢社会における現状・課題等を把握するとともに、地域リハビリテーションに関する制度・役割・手法等について理解することを目的に講義を展開する。地域リハビリテーションに関する領域は多岐にわたるため、地域リハビリテーションにおける職種を知り、その連携の重要性を理解する。</p>							
学習目標							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域リハビリテーションの定義を理解する。</li> <li>2. 地域および対象者のアセスメント手法について理解する。</li> <li>3. 地域リハビリテーションに関する諸制度を理解する。</li> <li>4. 地域リハビリテーション活動の手法と展開を知る。</li> <li>5. 地域リハビリテーションにおける多職種連携の重要性を知る。</li> </ol>							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input checked="" type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input checked="" type="checkbox"/> DP7 <input checked="" type="checkbox"/>					○	
授業計画							
回	内容						担当教員
1	<p>地域リハビリテーション概論</p> <p>地域リハビリテーションの歴史、定義と現状について解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：シラバスを確認すること。事前配布資料を熟読し、地域リハビリテーションの概要について調べておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：講義で紹介したHPサイトや参考資料を確認し課題を提出すること。</p>						竹林 秀晃
2	<p>地域リハビリテーションの展開過程</p> <p>在宅リハビリテーション、地域連携の実際について解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を熟読し、地域連携の方法について調べておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：講義で紹介したHPサイトや参考資料を確認し課題を提出すること。</p>						竹林 秀晃
3	<p>地域リハビリテーションの対象</p> <p>保健事業、学校保健領域、職域保健領域、地域保健領域、公的保険外におけるリハビリテーションについて解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を熟読し、地域リハビリテーションの活動・対象について調べておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：住んでいる地域の状況を検索・把握し、課題を提出すること。</p>						竹林 秀晃
4	<p>地域および対象者のアセスメント</p> <p>健康増進、介護予防、地域包括ケアシステムについて解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を熟読し、地域および対象者のアセスメントについて調べておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：講義で紹介したHPサイトや参考資料を確認し課題を提出すること。</p>						竹林 秀晃

5	<p>地域リハビリテーションの諸制度 社会保障制度、介護保険制度、障害者総合支援法、特別支援教育における制度改正について解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を熟読し、諸制度について調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：講義で紹介したHPサイトや参考資料を確認し課題を提出すること。</p>	滝本 幸治
6	<p>地域リハビリテーション活動支援事業 就学支援、就労支援、訪問支援、通所支援について解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を熟読し、地域リハビリテーション活動支援事業について調べておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：講義で紹介したHPサイトや参考資料を確認し課題を提出すること。</p>	滝本 幸治
7	<p>地域リハビリテーション活動の課題と展望 これからの多様性の社会と地域リハビリテーション、地域における多職種連携について解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を熟読し、多様性の社会について調べておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：講義で紹介したHPサイトや参考資料を確認し課題を提出すること。</p>	滝本 幸治
8	<p>まとめ 地域共生社会と地域リハビリテーションのトピックを解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を熟読し、地域共生社会についておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：講義で紹介したHPサイトや参考資料を確認し課題を提出すること。</p>	滝本 幸治
教科書	1.講義用冊子、資料を配布する。	
参考図書	<p>1. 重森健太（編）：地域理学療法学第1版，羊土社：2015</p> <p>2. 浅川育世（編）：地域理学療法学第2版，医歯薬出版：2015</p>	
成績評価	レポート課題（80％）、講義内課題（20％）により認定する。	
オフィスアワー	<p>竹林：水曜日 5限</p> <p>なお、講義後も質問を受けつけます。</p> <p>また、電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。</p>	
留意事項		
実務経験のある 教員による授業	<p>竹林 秀晃 実務経験：平成 9年4月～平成10年3月 京都大学医学部附属病院に理学療法士として研修 担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、講義は、大学病院での臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。また、行政や近隣住民の体操教室への関わりを通して地域リハビリテーションに関する研究を行っている。</p> <p>滝本 幸治 実務経験：平成12年4月～平成15年6月 北出病院に理学療法士として勤務 平成15年7月～平成17年3月 介護老人保健施設リバティ博愛に理学療法士として勤務 担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、講義は、一般病院・老人保健施設での臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。また、行政や近隣住民の体操教室への関わりを通して地域リハビリテーションに関する研究を行っている。</p>	

**総合科目**  
**(理学療法学専攻)**

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	総合	理学療法臨床評価実習	実習	3	135	2	後期
担当教員							
科目責任者	榎 勇人、川村 博文、宮本 謙三、宮本 祥子、岡部 孝生、奥田 教宏 近藤 寛、渡邊 家泰					実務経験のある 教員による科目	
○							
授業概要							
2年次に医療機関もしくは福祉施設における3週間の実習を行う。本実習を通して、理学療法評価プロセスと基本的評価技術を実習指導者の教示を得ながら、系統的・段階的に経験し、障害評価の理解と実践力を学修する。具体的には情報収集、理学療法評価、統合・解釈、問題点抽出までの範囲を学修する。また、他部署からの情報収集を通して多職種連携についての重要性を理解する。施設実習終了後には、学内にて実習で経験した内容を成果報告会としてプレゼンテーションを行う。							
学習目標							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実際の症例に関する情報収集や、実際の症例に対する医療面接を経験し、実践力を養う。</li> <li>2. 実際の症例に対して基本的な理学療法評価を実践し、これまでに学修した知識や技術を再確認する。</li> <li>3. 収集した情報や実践した理学療法評価に基づき、対象者の状況を統合・解釈し、問題点の抽出までの一連の理学療法過程を経験し、理解を深める。</li> <li>4. 成果報告会で対象者の統合と解釈、問題点抽出などについてディスカッションし、理解を深める。</li> <li>5. 臨床における多職種連携についての重要性を理解する。</li> </ol>							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input checked="" type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input checked="" type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input checked="" type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input checked="" type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>					○	
授業計画							
内 容							担当教員
実 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事前学習・実習オリエンテーション 事前学習では、各実習施設の施設情報を収集し、必要と思われる内容について予習する。その上で、基本的な理学療法評価（検査・測定）について、学力試験ならびに実技試験にて、学習の到達度を包括的に評価する。実習オリエンテーションでは、本実習の概要、学生の持参するもの、心得・責務などについて説明する。</li> <li>2) 臨地実習 実習生が診療チームの一員として加わり、実習指導者の指導・監督のもとで診療参加型臨床実習（Clinical ClerkShip）を実施する。実際の症例に対し、まず医療面接を行うとともに観察や診療記録からの情報収集を経験する。次に、基本的な理学療法評価を実践する。情報収集や理学療法評価結果の内容に基づき、統合と解釈、問題点抽出までの一連の理学療法過程を経験する。</li> <li>3) 成果報告会 本実習で経験した一症例について、実施した情報収集、理学療法評価、統合・解釈、問題点の抽出などの内容を、臨床実習成果報告書にまとめる。作成した報告書を用いて、成果報告会で報告する。成果報告会を通して、文章作成能力や説明能力の向上、理解の深化を促すとともに、本実習後における学修の到達度を評価する。</li> </ol>						全員

授業時間外学習（事前事後の予習復習）

施設実習前には、学修目標を立てること。実習での経験をポートフォリオ、成果報告書にまとめる。  
授業時間外学習は、施設実習指導者・巡回教員と相談しながら進めること。

教科書	学内で使用している教科書すべて
参考図書	「臨床実習の手引き」を配付する
成績評価	巡回教員の評価（50％）施設指導者からのコメント内容（30％）、成果報告書のプレゼンテーション（10％）、ポートフォリオ（10％）とを総合的に判定する。
オフィスアワー	学外での実習のため、適時受け付けます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。
留意事項	

教育課程等の概要（理学療法学専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	時間数	単位数		授業形態			担当教員	備考
					必修	選択	講義	演習	実験・実習		
初年次科目	10011 ラーニングリテラシー	1前		15	1			○		宮口 英樹、竹林 秀晃、榎 勇人、川村 博文、宮本 謙三、石附智奈美、宮本 祥子、岡部 孝生、奥田 教宏、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、近藤 寛、渡邊 家泰、桂 雅俊	共同
	10021 情報リテラシー	1前		15	1			○		竹林 秀晃、近藤 寛、渡邊 家泰、稲富 淳一	共同
	10031 初年次IPE演習	1前		15	1			○		宮口 英樹、竹林 秀晃、榎 勇人、川村 博文、宮本 謙三、石附智奈美、宮本 祥子、岡部 孝生、奥田 教宏、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、近藤 寛、渡邊 家泰、桂 雅俊	共同
教養基礎科目	10041 人間科学概論	1前		30	2			○		李 賢珠：博士(文化人類学) <非常勤講師>	
	10051 心理学	1後		30	2			○		繁樹 博昭：博士(心理学)高知工科大学 <非常勤講師> 島根 大輔：博士(心理学)高知工科大学 <非常勤講師> 伊崎 翼：博士(学術)高知工科大学 <非常勤講師>	
	10061 生命倫理学	1前		15		1	○			岩佐 光広：博士(学術)高知大学 准教授 <非常勤講師>	
	10071 医療人類学	1後		15		1	○			李 賢珠：博士(文化人類学) <非常勤講師>	
	10081 社会学概論	1前		30	2			○		秋谷 公博：博士(国際地域学)高知県立大学 准教授 <非常勤講師>	
	10091 情報と社会	1後		15	1			○		兵頭 勇己：博士(医学)高知大学 助教 <非常勤講師>	
	10101 法律と社会	1後		15		1	○			村岡 晃：高知県・高知市病院企業団立高知医療センター 企業長 <非常勤講師>	
	10111 教育と社会	1後		15		1	○			石山 貴章：博士(社会福祉学)高知県立大学 教授 <非常勤講師>	
	10123 データサイエンス	3前		30	2			○		兵頭 勇己：博士(医学)<非常勤講師> 高知大学 助教 <非常勤講師>	
	10131 災害と共に生きる	1前		15	1			○		原 忠：博士(工学)高知大学 准教授 <非常勤講師>	
10141 ライフサイエンス生物学	1前		15		1	○			大迫 洋治：博士(獣医学)高知大学 准教授 <非常勤講師>		
10151 バイオメカニクス	1後		15		1	○			榎 勇人		
10161 基礎英語	1前		30	2			○		宮本 祥子		
言語の探求	10171 コミュニケーション論	1前		15	1			○		筒井典子：修士(学術) 人・みらい研究所 代表 <非常勤講師> 中村 寛：人・みらい研究所 <非常勤講師>	共同
	10181 コミュニケーション英語	1後		15		1		○		李 賢珠：博士(文化人類学) <非常勤講師> 福江 満子：修士(教育学) <非常勤講師>	
	10191 異文化コミュニケーション(中国語)	1後		15		1		○		岡崎 桂禎：高知県国際交流協会 <非常勤講師>	
保健体育	10201 スポーツ実践	1前		30	2			○		神家 一成：高知大学名誉教授 <非常勤講師>	
小計 (20科目)		-	-		18	8		-			
専門基礎科目	11011 解剖学 I	1前	○	30	2			○		大迫 洋治：博士(獣医学)高知大学 准教授 <非常勤講師>	
	11021 解剖学 II	1後	○	30	2			○		大迫 洋治：博士(獣医学)高知大学 准教授 <非常勤講師>	
	11031 骨学筋学 I	1前		15	1			○		岡部 孝生	共同
	11041 骨学筋学 II	1後		15	1			○		岡部 孝生	共同
	11042 体表解剖学	2前		15	1			○		岡部 孝生	
	11052 組織学	2後		15	1			○		大迫 洋治：博士(獣医学)高知大学 准教授 <非常勤講師>	
	11061 生理学 I	1前	○	30	2			○		梶 秀人	
	11071 生理学 II	1後	○	30	2			○		梶 秀人	
	11081 生理学演習 I	1前		15	1			○		近藤 寛、渡邊 家泰	共同
	11091 生理学演習 II	1後		15	1			○		近藤 寛、渡邊 家泰	共同
	11103 応用解剖生理学	3後		15	1			○		梶 秀人、岡部 孝生	オムニバス
	11111 身体運動学 I	1前	○	30	2			○		宮本 謙三、井上 佳和	オムニバス
	11121 身体運動学 II	1後	○	30	2			○		宮本 謙三、井上 佳和	オムニバス
	11132 運動生理学	2前		30	2			○		宅間 豊	
	11141 人間発達学	1前		30	2			○		宮本 謙三	
11142 脳科学概論	2後		30	2			○		繁樹 博昭：博士(心理学)高知工科大学 <非常勤講師> 竹田昂典：博士(医学)高知工科大学 <非常勤講師> 門田 宏：博士(学術)<高知工科大学 <非常勤講師>		
11152 医学英語	2前		15	1			○		宮本 祥子		
小計 (17科目)		-	-		26			-			

教育課程等の概要（理学療法学専攻）

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	時間数	単位数		授業形態			担当教員	備考	
					必 修	選 択	講 義	演 習	実 験・ 実習			
臨床 医学	11161	リハビリテーション医学	1後	15	1		○			井上佳和		
	11171	病理学	1後	30	2		○			椋 清美：博士（保健学）高知学園大学＜非常勤講師＞		
	11182	内科学	2前	30	2		○			小島 研介：高知大学＜非常勤講師＞ 船越 生吾：高知大学＜非常勤講師＞ 田口 崇文高知大学＜非常勤講師＞ 刑部 有紀：高知大学＜非常勤講師＞ 猪谷 哲司：高知大学＜非常勤講師＞ 平野 世紀：高知大学＜非常勤講師＞ 岩崎 信二：博士(医学) 土佐田村病院副院長 消化器内科	オムニバス	
	11192	神経内科学	2後	30	2		○			森田ゆかり：高知大学＜非常勤講師＞ 大崎 康史：高知大学＜非常勤講師＞ 橋本 侑：高知大学＜非常勤講師＞ 田辺 裕久：朝倉病院 理事長 山崎 直仁：高知大学＜非常勤講師＞ 馬場 裕一：高知大学＜非常勤講師＞ 北岡 裕章：高知大学＜非常勤講師＞		
	11202	整形外科学	2前	30	2		○			宅間 豊 池内 昌彦：博士(医学) 高知大学＜非常勤講師＞	オムニバス	
	11212	精神医学	2前	30	2		○			戎 正司：近森病院 総合診療センター 藤田博一：高知大学医学部附属医学教育創造センター＜非常勤講師＞ 玉元 徹：南国病院＜非常勤講師＞ 藤戸良子：高知大学医学部附属病院＜非常勤講師＞ 赤松正規：高知大学医学部附属病院＜非常勤講師＞	オムニバス	
	11222	小児科学	2後	30	2		○			島崎 洋成：医学博士 田野病院＜非常勤講師＞		
	11232	臨床心理学	2後	30	2		○			鹿間 淳史：修士(児童学)高知ハーモニーホスピタル＜非常勤講師＞		
	11243	臨床栄養学	3前	15	1		○			大坪 豊寿：田中整形外科病院＜非常勤講師＞		
	11253	臨床薬理学	3前	15	1		○			長崎 大武：プラス薬局＜非常勤講師＞		
	11263	救急救命処置演習	3後	15	1			○		武田 陽平：高知赤十字病院＜非常勤講師＞		
		小計（11科目）	-	-	18			-				
	保健 医療 福祉	11271	リハビリテーション概論	1前	○	15	1		○		宮本 謙三、宅間 豊	オムニバス
		11282	健康科学概論	2前		30	2		○		宮口 英樹、川村 博文	オムニバス
		11292	社会福祉学概論	2後		30	2		○		稲垣 佳代：修士(社会福祉学) 高知県立大学＜非常勤講師＞	
		11303	災害リハビリテーション	3後		15	1			○	森下 誠也：修士(医科学) 田野病院＜非常勤講師＞ 淡野 義長：長崎医療技術専門学校 校長＜非常勤講師＞	オムニバス
11314		国際リハビリテーション学	4前		15	1		○		宮口 英樹、椛 秀人、榎 勇人、竹林 秀晃、石附智奈美、玉垣 努、 奥田 教宏、宮本 祥子	オムニバス	
11323		福祉住環境論	3前		15	1			○	井上 佳和、稲富 惇一	共同	
	小計（6科目）	-	-		8			-				
	小計（34科目）	-	-		52			-				

教育課程等の概要（理学療法学専攻）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	時間数	単位数		授業形態			担当教員	備考
						必修	選択	講義	演習	実験・実習		
基礎 理学療法学	22011	理学療法学概論	1前	○	30	1		○			竹林 秀晃	
	2022	運動分析学	2後		15	1				○	榎 勇人、渡邊 家泰	共同
	2034	理学療法管理学	4前		15	1		○			菅原 仁、川村 博文	オムニバス
	22043	理学療法教育学	3後		15	1		○			川村 博文	
		小計（4科目）	-	-		4			-			
理学療法学 評価学	22051	理学療法評価学	1後	○	30	1		○			岡部 孝生	
	22062	理学療法評価学実習	2後		30	1				○	宮本 祥子、渡邊 家泰	共同
	22071	形態評価学実習	1後		30	1				○	宮本 祥子、近藤 寛	共同
	22082	筋機能評価学実習	2前		30	1				○	宮本 祥子、岡部 孝生	共同
	22092	神経機能評価学実習	2前		30	1				○	榎 勇人、渡邊 家泰	共同
	22103	生理機能評価学実習	3前		30	1				○	大重 匡、近藤 寛	共同
		小計（6科目）	-	-		6			-			
理学療法学専攻 理学療法治療学	22112	運動療法学	2前	○	30	1		○			竹林 秀晃	
	22122	運動療法学実習	2後		30	1				○	竹林 秀晃、近藤 寛	共同
	22132	物理療法学	2前	○	30	1		○			菅原 仁	
	22142	物理療法学実習	2後		15	1				○	菅原 仁、岡部 孝生	共同
	22152	日常生活活動学	2前		30	1		○			井上 佳和	
	22162	日常生活活動学実習	2後		30	1				○	井上 佳和	
	22172	装具学	2後		30	1		○			川村 博文、渡邊 家泰	共同
	22183	義肢学	3前		30	1		○			榎 勇人、渡邊 家泰	
	22192	神経理学療法学Ⅰ	2前	○	30	1		○			榎 勇人	
	22202	神経理学療法学Ⅱ	2後		30	1		○			川村 博文	
	22213	神経理学療法学実習	3前		30	1				○	榎 勇人、渡邊 家泰	共同
	22222	運動器理学療法学Ⅰ	2前	○	30	1		○			奥田 教宏	
	22232	運動器理学療法学Ⅱ	2後		30	1		○			奥田 教宏	
	22243	運動器理学療法学実習	3前		30	1				○	奥田 教宏	
	22253	スポーツ理学療法学	3後		30	1		○			榎 勇人	
	22263	小児理学療法学	3後		30	1		○			宮本 謙三、細田 里南	オムニバス
	22273	呼吸器理学療法学	3前	○	30	1		○			大重 匡、宅間 豊	オムニバス
	22283	循環器理学療法学	3後	○	30	1		○			大重 匡、宅間 豊	
	22293	代謝理学療法学	3後		15	1		○			大重 匡、近藤 寛	オムニバス
		小計（19科目）	-	-		19			-			
地域療法学	21302	地域リハビリテーション学	2後	○	15	1		○			竹林 秀晃 滝本 幸治：博士(医学)奈良学園大学 <非常勤講師> 吉良 健司：在宅リハビリ研究所代表 <非常勤講師>	オムニバス
	21313	地域理学療法学	3後		15	1		○			橋本 貴紘：株式会社Workth 代表 <非常勤講師>	オムニバス
	21323	多職種連携教育	3後		15	1			○		川村 博文、玉垣 努	オムニバス・共同(一部)
			小計（3科目）	-	-		3			-		
		小計（32科目）	-	-		32			-			
発展科目A 発展科目B	14013	筋骨格系リハビリテーション	3前		15		1		○		菅原 仁、岡部 孝生	オムニバス
	14023	認知のリハビリテーション	3前		15		1	○			石附智奈美、畑田 早苗	オムニバス
	14033	痛みのサイエンス	3前		15		1	○			奥田 教宏、岡部 孝生 大迫 洋治：博士(獣医学)高知大学 准教授 <非常勤講師>	オムニバス
	14043	予防リハビリテーション	3前		15		1	○			竹林 秀晃、桂 雅俊	オムニバス
	14053	ニューロサイエンス	3後		15		1	○			竹林 秀晃、稲富 惇一	オムニバス
	14063	スポーツサイエンス	3後		15		1	○			榎 勇人、玉垣 努	オムニバス
	14073	ヘルスプロモーション	3後		15		1	○			菅原 仁	
	14083	がんリハビリテーション	3後		15		1	○			近藤 寛、安岡 希和	オムニバス
			小計（8科目）	-	-		8			-		
			小計（11科目）	-	-		11			-		
発展科目B	14093	社会自立支援技法	3前		15		1		○		宮口 英樹、畑田 早苗、萩原 賢二、渡邊 家泰	共同
	14103	児童発達支援技法	3前		15		1		○		石附智奈美、宮本 謙三、片岡 聡子、箭野 豊	共同
	14113	地域社会支援技法	3前		15		1		○		竹林 秀晃、奥田 教宏、近藤 寛、桂 雅俊	共同
		小計（3科目）	-	-		3			-			

教育課程等の概要（理学療法学専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	時間数	単位数		授業形態			担当教員	備考	
					必修	選択	講義	演習	実験・実習			
総合科目 (理学療法臨床実習)	25013	臨床技能演習Ⅰ	3後	15	1			○		榎 勇人、川村 博文、大重 匡、宮本 謙三、宮本 祥子、岡部 孝生 奥田 教宏、近藤 寛、渡邊 家泰	共同	
	25024	臨床技能演習Ⅱ	4前	15	1			○		榎 勇人、川村 博文、大重 匡、宮本 謙三、宮本 祥子、岡部 孝生 奥田 教宏、近藤 寛、渡邊 家泰	共同	
	25031	早期臨床体験実習	1通	45	1			○		榎 勇人、川村 博文、宮本 謙三、宮本 祥子、岡部 孝生、奥田 教宏 近藤 寛、渡邊 家泰	共同	
	25042	理学療法臨床評価実習	2後	○	135	3			○	榎 勇人、川村 博文、宮本 謙三、宮本 祥子、岡部 孝生、奥田 教宏 近藤 寛、渡邊 家泰	共同	
	25053	理学療法臨床総合実習Ⅰ	3後	○	270	6			○	榎 勇人、川村 博文、大重 匡、宮本 謙三、宮本 祥子、岡部 孝生 奥田 教宏、近藤 寛、渡邊 家泰	共同	
	25064	理学療法臨床総合実習Ⅱ	4前	○	630	14			○	榎 勇人、川村 博文、大重 匡、宮本 謙三、宮本 祥子、岡部 孝生 奥田 教宏、近藤 寛、渡邊 家泰	共同	
	25074	理学療法地域実習	4前		45	1			○	榎 勇人、川村 博文、大重 匡、宮本 謙三、宮本 祥子、岡部 孝生 奥田 教宏、近藤 寛、渡邊 家泰	共同	
		小計（7科目）	-	-		27			-			
	理学療法 統合格目	25083	理学療法特論Ⅰ	3通	15	1			○		川村 博文 加賀野井博美：内田脳神経外科 <非常勤講師>	オムニバス
		25094	理学療法特論Ⅱ	4通	15	1			○		大畑 剛：愛宕病院 <非常勤講師> 田中健太郎：近森病院 <非常勤講師>	オムニバス
25104		理学療法総合演習	4後	60	2			○		竹林 秀晃、榎 勇人、川村 博文、大重 匡、宮本 謙三、菅原 仁 梶 秀人、宮本 祥子、岡部 孝生、奥田 教宏、近藤 寛、渡邊 家泰	共同	
		小計（3科目）	-	-		4			-			
理学療法 研究法	25113	理学療法研究法	3前	○	30	1		○		竹林 秀晃、奥田 教宏、岡部 孝生、大重 匡、川村 博文	オムニバス	
	25123	理学療法セミナー	3前		30	1		○		竹林 秀晃、榎 勇人、川村 博文、大重 匡、宮本 謙三、菅原 仁 梶 秀人、宮本 祥子、岡部 孝生、奥田 教宏、近藤 寛、渡邊 家泰	共同	
	25134	卒業研究	4通	○	90	3		○		竹林 秀晃、榎 勇人、川村 博文、大重 匡、宮本 謙三、菅原 仁 梶 秀人、宮本 祥子、岡部 孝生、奥田 教宏、近藤 寛、渡邊 家泰	共同	
		小計（3科目）	-	-		5			-			
	小計（3科目）	-	-		36			-				
	合計（110科目）	-	-		138	19		-				

卒業要件及び履修方法

<理学療法学専攻>

- ①教養基礎科目「初年次科目」「人間の探求」「社会の探求」「自然の探求」「言語の探求」「保健体育」の全20科目26単位から必修18単位を含む22単位以上を履修、選択科目は「人間の探求」「社会の探求」「自然の探求」「言語の探求」の8科目8単位からそれぞれ1単位以上修得する。
- ②専門基礎科目「リハビリテーション基礎医学」「臨床医学」「保健医療福祉」の必修34科目52単位を修得する。
- ③専門科目では、「基礎理学療法」「理学療法評価学」「理学療法治療学」「地域理学療法」の必修32科目32単位、「発展科目A」選択8科目8単位から4科目4単位、「発展科目B」選択3科目3単位から1単位修得、計37単位を修得する。
- ④総合科目「理学療法臨床実習」「理学療法統合格目」「理学療法研究」の必修13科目36単位を修得する。
- ⑤卒業要件単位数は、合計147単位以上を修得する。

